

研究活動報告

Report on Research Activities

(2011年1月1日～2011年12月31日)

ここに収録された題目は、学内研究者の発表したもののうち、2011年1月1日より2011年12月31日迄の期間に学術雑誌等や学会等で発表したものを、論文の性質、発表機関などには一切制限を加えず、提供された原稿のまま掲載した。

〔スポーツ科学科〕

—スポーツ医科学コース—

教授

形本 静夫

【原著論文（査読あり）】

- ①Kakigi R, Naito H, Ogura Y, Kobayashi H, Saga N, Ichinoseki-Sekine N, Yoshihara T, **Katamoto S**. Heat stress enhances mTOR signaling after resistance exercise in human skeletal muscle. *J Physiol Sci*. 61 (2): 131-40, 2011. 3
- ②Matsuzuki H, Ito A, Ayabe M, Haruyama Y, Tomita S, **Katamoto S**, Muto T. The effects of work environments on thermal strain on workers in commercial kitchens. *Ind Health* 49(5): 605-613, 2011.8
- ③Ishi H, Yanagia T, Naito H, **Katamoto S**, Maruyama T. Theoretical study of factors affecting ball velocity in instep soccer kicking. *J Appl Biomech*. 2011 Aug 26 Epub ahead of print
- ④谷本道哉, 佐賀典生, 村出真一郎, **形本静夫**. 5分間の最大自転車サイクリング運動時の筋の酸素環境・代謝環境の変化. *近畿大学生物理工学部紀要* 28: 61-72, 2011. 9
- ⑤Sakurai Y, Tamura Y, Takeno K, Kusahiro N, Sato F, Kanehi S, Ikeda S, Ogura Y, Saga N, Naito H, **Katamoto S**, Fujitani Y, Hirose T, Kawamori R, Watada H. Determinants of intramyocellular lipid accumulation dietary fat loading in non-obese men. *J Diabet Invest* 2(4): 310-317, 2011. 8

【研究報告・研究資料等】

- ①**形本静夫**, 吉原利典, 北村 薫, 野川春夫. サイクリストの運動実施状況に関するアンケート調査. 平成22年

度「自転車による健康づくりのための自然科学的研究」報告書, 28-34, 2011.

- ②**形本静夫**, 中瀧 崇, 石原義彦. エンデューロレース中の運動強度とエネルギー消費量. 平成22年度「自転車による健康づくりのための自然科学的研究」報告書, 35-40, 2011.
- ③**形本静夫**, 尾崎隼朗, 村出真一郎, 柿木 亮, 中瀧 崇, 吉原利典, 内藤久士, 島田和典, 田村好史. 長時間耐久レースにおけるサイクリング時間の違いが日本人自転車愛好家のエネルギー動態及び心筋マーカーに及ぼす影響. 平成22年度「自転車による健康づくりのための自然科学的研究」報告書, 41-47, 2011.
- ④内藤久士, 柿木 亮, 吉原利典, **形本静夫**. 長時間サイクリングが血清熱ショックたんぱく質に及ぼす影響. 平成22年度「自転車による健康づくりのための自然科学的研究」報告書, 48-54, 2011.
- ⑤**形本静夫**, 村出真一郎, 尾崎隼朗, 中瀧 崇. エンデューロ時の運動強度およびエネルギー消費量-競技選手の場合. 平成22年度「自転車による健康づくりのための自然科学的研究」報告書, 55-60, 2011.
- ⑥**形本静夫**, 村出真一郎, 中瀧 崇. ツーリング時の運動強度およびエネルギー消費量. 平成22年度「自転車による健康づくりのための自然科学的研究」報告書, 61-68, 2011.
- ⑦**形本静夫**, 村出真一郎, 中瀧 崇, 石原義彦. サイクリングにおける日常サイクリング時のエネルギー消費量. 平成22年度「自転車による健康づくりのための自然科学的研究」報告書, 69-72, 2011.
- ⑧**形本静夫**, 吉原利典, 後藤佐多良. 日常的なサイクリングが血清の抗酸化能力に及ぼす影響. 平成22年度「自転車による健康づくりのための自然科学的研究」報告書, 73-78, 2011.
- ⑨**形本静夫**, 中瀧 崇, 石原義彦. サイクリング愛好者の

有酸素性作業能. 平成22年度「自転車による健康づくりのための自然科学的研究」報告書, 79-84, 2011.

- ⑩形本静夫, 村出真一郎, 坂本彰宏, 柿木 亮. サドル高がペダリング運動時のエネルギー消費量および下肢筋活動に及ぼす影響. 平成22年度「自転車による健康づくりのための自然科学的研究」報告書, 104-111, 2011.
- ⑪谷本道哉, 佐賀典生, 村出真一郎, 形本静夫. スプリントサイクリング運動中の筋内環境の変化の観察および運動介入による筋肥大・筋力増強効果の検証. 平成22年度「自転車による健康づくりのための自然科学的研究」報告書, 112-142, 2011.

【著書】

- ①形本静夫. ウォーミングアップとクーリングダウン. 北川薫編, トレーニング科学, 東京, 光文堂, 148-155, 2011.

【その他】

- ①形本静夫, 手嶋敏光, 大原寛一, 岸本直樹, 中務博司, 村出真一郎, 河合祥雄, 広沢正孝. <2010年度クラブ活動指導報告> 自転車競技部—2010年度のトレーニング指導方針と成果. 順天堂スポーツ健康科学研究 第2巻 Suppl: 60-71, 2011
- ②形本静夫. 大学院学術研究集会 (第1回) 報告. 順天堂スポーツ健康科学研究 第2巻 Suppl: 77-79, 2011

【学会発表】

1) 国際学会

- ①Kakigi R, Naito H, Ogura Y, Ichinoseki-Sekine N, Yoshihara T, **Katamoto S**. Effects of intermittent heat stress with or without strength training on rat skeletal muscle. Inaugural International Academy of Sportology, Tokyo, 2011. 3
- ②Yoshihara T, Naito H, Kakigi R, Ichinoseki-Sekine N, Sugiura T, **Katamoto S**. Heat stress-induced autophagic regulations in rat skeletal muscle. Biology 2011, Washington DC, USA, 2011. 4
- ③Tsuzuki T, Kobayashi H, Naito H, **Katamoto S**. The effects of heat treatment on AMPK activation in skeletal muscle in type 2 diabetic rats. Biology 2011, Washington DC, USA, 2011. 4
- ④Kakigi R, Naito H, Ogura Y, Kobayashi H, Saga N, Ichinoseki-Sekine N, Yoshihara T, **Katamoto S**. Effects of resistance exercise with heat stress on mTOR signaling in human skeletal muscle. The American College of Sports Medicine 58th Annual Meeting, Denver, USA, 2011, Med Sci Sports Exerc. 43: 5 supplement, S208, 2011. 5
- ⑤Yoshihara T, Naito H, Kakigi R, Ichinoseki-Sekine N, Sugiura T, **Katamoto S**. Effects of heat stress on Akt/mTOR signaling in rat skeletal muscle. The American College of Sports Medicine 58th Annual Meeting, Denver, USA, 2011, Med Sci Sports Exerc. 43: 5 supplement, S282, 2011. 5
- ⑥Tsuzuki T, Kobayashi H, Naito H, **Katamoto S**. The effects of heat treatment on glucose tolerance in type 2 diabetic rats. The American College of Sports Medicine 58th Annual Meeting, Denver, USA, 2011, Med Sci Sports Exerc. 43: 5 supplement, S411, 2011. 5
- ⑦Ozaki H, Naito H, Nakagata T, Kitada T, **Katamoto S**. Cardiovascular Responses To Combined Elastic Tube And Walking Exercises. The American College of Sports Medicine 58th Annual Meeting, Denver, USA, 2011, Med Sci Sports Exerc. 43: 5 supplement, S356, 2011. 5
- ⑧Nakagata T, Naito H, **Katamoto S**. The Effects Of Transdermal Nicotine Patch On Cardiorespiratory Responses During Aerobic Exercise. The American College of Sports Medicine 58th Annual Meeting, Denver, USA, 2011, Med Sci Sports Exerc. 43: 5 supplement, S382, 2011. 5
- ⑨Sooneste H, Tanimoto M, Kakigi R, Saga N, **Katamoto S**. Effects of Training Volume on Strength and Hypertrophy in Sedentary Young Japanese Men. The American College of Sports Medicine 58th Annual Meeting, Denver, USA, 2011, Med Sci Sports Exerc. 43: 5 supplement, S581, 2011. 5
- ⑩Kakigi R, Naito H, Murade S, Yoshihara T, Nakagata T, Ozaki H, **Katamoto S**. Endurance cycling exercise increases serum heat shock protein 72 in humans. The 16th Annual Congress of the European College of Sport Science, Liverpool, UK, 2011. 7
- ⑪Ozaki H, Murade S, Kakigi R, Nakagata T, Yoshihara T, **Katamoto S**, Naito H. The effects of the difference of cycling time on energy dynamics and biochemical markers of heart damage for japanese recreational cyclists. The 16th Annual Congress of the European College of Sport Science, Liverpool, UK, 2011. 7
- ⑫Nakagata T, Murade S, Ishihara Y, **Katamoto S**, Naito H. Aerobic work capacity in Japanese middle-aged recreational cyclists. The 16th Annual Congress of the European College of Sport Science, Liverpool, UK, 2011. 7

- ⑬Yoshihara T, Naito H, Kakigi R, Ichinoseki-Sekine N, Sugiura T, **Katamoto T**. Effects of heat stress on Akt/mTOR signaling in rat skeletal muscle. The 16th Annual Congress of the European College of Sport Science, Liverpool, UK, 2011. 7
- ⑭Murade S, Sakamoto S, Kakigi R, **Katamoto S**. Effect of saddle height on oxygen consumption and EMG of lower limb muscles during submaximal cycling on a free-roller in cyclists. The 16th Annual Congress of the European College of Sport Science, Liverpool, UK, 2011. 7
- 2) 国内学会
- ①吉原利典, **形本静夫**, 内藤久士. 日常的なサイクリングが血清の抗酸化能力に及ぼす影響. 第18回日本健康体力栄養学会, 東京, 2011. 3
- ②都築孝允, 小林裕幸, 内藤久士, **形本静夫**. 温熱処置が糖尿病ラットの耐糖能およびインスリン抵抗性に及ぼす影響. 第18回日本健康体力栄養学会, 東京, 2011. 3
- ③高嶺由梨, **形本静夫**, 吉原利典, 内藤久士. ソールが不安定なシューズの着用が最大下トレッドミル歩行時の呼吸循環器応答に及ぼす影響. 第18回日本健康体力栄養学会, 東京, 2011. 3
- ④佐賀典生, **形本静夫**, 関根紀子, 内藤久士, 河合祥雄. サイクリング愛好者の ACTN3 遺伝子型に関する研究. 第19回日本運動生理学会大会, 徳島, 2011. 8
- ⑤尾崎隼朗, 内藤久士, **形本静夫**. レジスタンストレーニングにおける運動強度の違いが頸動脈コンプライアンスに与える影響. 第19回日本運動生理学会大会, 徳島, 2011. 8
- ⑥吉原利典, 内藤久士, 柿木 亮, 関根紀子, 杉浦崇夫, **形本静夫**. 温熱負荷がラット骨格筋の Akt/mTOR シグナル伝達に与える影響. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 2011. 9 体力科学60(6): 627, 2011. 12
- ⑦都築孝允, 小林裕幸, 内藤久士, 吉原利典, 柿木 亮, 関根紀子, **形本静夫**. 温熱処置が2型糖尿病ラットの骨格筋における AMPK 活性化に及ぼす影響. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 2011. 9, 体力科学 60(6): 627, 2011. 12
- ⑧尾崎隼朗, 内藤久士, 中瀧 崇, 北田友治, 窪田敦之, **形本静夫**. コンバインドトレーニングにおける持久性運動の強度の違いがトレーニング効果に及ぼす影響. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 2011. 9, 体力科学 60(6): 634, 2011. 12
- ⑨中瀧 崇, 内藤久士, **形本静夫**. 経皮的ニコチン吸収が有酸素運動中の呼吸循環応答に及ぼす影響. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 2011. 9, 体力科学 60(6): 642, 2011. 12
- ⑩村出真一郎, 佐賀典生, **形本静夫**, 内藤久士. フリーローラー走行による一般サイクリストの至適ケイデンスの検討. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 2011. 9, 体力科学 60(6): 647, 2011. 12
- ⑪石原美彦, 内藤久士, **形本静夫**. 年齢カテゴリー別にみたサッカー審判員の運動強度. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 2011. 9, 体力科学 60(6): 649, 2011. 12
- ⑫佐賀典生, 内藤久士, 河合祥雄, **形本静夫**. 遅発性筋痛時の温熱処置が筋損傷・筋痛に及ぼす影響. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 2011. 9, 体力科学 60(6): 756, 2011. 12
- ⑬仲間孝大, **形本静夫**, 内藤久士. 箱根駅伝出場を目指す大学長距離選手の有酸素能力とトレーニング上の課題に関する事例研究. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 2011. 9, 体力科学 60(6): 770, 2011. 12
- ⑭谷本道哉, 佐賀典生, 柿木 亮, 村出真一郎, **形本静夫**. 5分間最大自転車ペダリング運動時の筋の酸素環境・代謝環境の変化. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 2011. 9
- ⑮高橋麻衣子, 川田裕次郎, 林田章紀, 土屋大志郎, 蛭田秀樹, 仁藤恵里子, 沖 和砂, 中島宣行, **形本静夫**, 広沢正孝. サイクリングの実施が主観的健康度に及ぼす影響—インターネット調査による検討—. 第62回日本体育学会大会, 鹿児島, 2011. 9
- ⑯林田章紀, 川田裕次郎, 高橋麻衣子, 土屋大志郎, 蛭田秀樹, 仁藤恵里子, 上野朋子, 中島宣行, **形本静夫**, 広沢正孝. サイクリングへの関わり方と主観的健康度及び抑うつとの関連. 第62回日本体育学会大会, 鹿児島, 2011. 9
- ⑰佐藤寛人, **形本静夫**, 内藤久士. 暑熱環境下での休息時の送風が最大下運動中の呼吸循環応答に及ぼす影響. 第54回卒業論文・修士論文発表会 (日本女子体育連盟) 2011. 2
- ⑱都築孝允, 内藤久士, **形本静夫**. 温熱処置が糖尿病ラットの耐糖能及びインスリン抵抗性に及ぼす影響. 第54回卒業論文・修士論文発表会 (日本女子体育連盟) 2011. 2
- ⑲細田陽平, 内藤久士, **形本静夫**. クライオストレッチングが遅発性筋痛に及ぼす影響. 第54回卒業論文・修士論文発表会 (日本女子体育連盟) 2011. 2
- ⑳本田洋亮, **形本静夫**, 内藤久士. 異なる負荷による超最

大ペダリングトレーニングが自転車エルゴメータの運動における負荷-パワー関係に及ぼす影響. 第54回卒業論文・修士論文発表会(日本女子体育連盟) 2011. 2

河合 祥雄

【原著】

Oigawa T, Kawai S, Yamaguchi H: Myocardial cell death in microscopic infarction. J Taiwan Soc Echocardiog 5: 81-89, 2011.

高嶋 哲, 山本正彦, 河合祥雄, 中村 明, 澤木啓祐, 上田誠仁: 男子学生中長距離選手の中学校・高等学校期のトレーニングに関する研究. ランニング学研究, 22(2): 13-20, 2011.

Izumi T, Hiroe M, Isobe M, Kawai S, et al.: Guidelines for diagnosis and treatment of myocarditis (JCS2009) -Digest Version-. Circulation Journal 75(3): 734-743, 2011.

Arimura T, Ishikawa T, Nunoda S, Kawai S, Kimura A: Dilated Cardiomyopathy-associated BAG3 mutations impair Z-disc assembly and enhance sensitivity to apoptosis in cardiomyocytes. Human Mutation Vol 00: No 1: 1-11, 2011 (in Print).

【総説】

河合祥雄: たこつぼ心筋症の発症機序とその治療について. Cardiac Practice 22(3): 227-232, 2011.

河合祥雄, 佐賀典夫: 浸水, 潜水に見られる肺水腫. 日本高気圧環境・潜水医学会関東地方会誌 11(1): 35-22, 2011.

【その他(報告書)】

河合祥雄, 山本正彦, 染谷由希: 自転車運動時における脳酸素動態の部位別変化と自然走行と固定走行の差異検出の試み. (財)日本自転車普及協会委託研究, 平成22年度「自転車による健康増進のための自然科学的研究」, 85-103頁

河合祥雄: 日本水中科学協会・シンポジウムに当たって. 特定非営利活動法人日本水中科学協会「日本水中科学協会2010年12月12日シンポジウム報告書」, 5頁

形本静夫, 手嶋敏光, 大原寛一, 岸本直樹, 中務博司, 村出真一郎, 河合祥雄, 廣澤正孝: 自転車競技部 2010年度のトレーニング指導方針と成果. 順天堂スポーツ健康科学研究 2(Suppl): 69-41, 2011.

シンポジウム(含む特別講演)

河合祥雄: シンポジウム1「心筋症と麻酔: 病態の理解に基づく周術期管理」社団法人日本麻酔科学会. 関東甲信越・東京支部第51回合同同学術集会 幕張メッセ2F 中会議室(第1会場) 2011年9月10日

河合祥雄: 潜水にみられる肺水腫について. 第11回日本高気圧環境・潜水医学会関東地方会 学術集会, 順天堂大学保健看護学部, シンポジウム1 テーマ「伊豆半島における減圧症患者発生後の動き」. 2011年6月11日

河合祥雄, 山田京志, 鈴木宏昌, 長浜真人: たこつぼ心筋症の病理形態像の経時的変化と「筋収縮帯壊死」再考. 第33回心筋生検研究会, 京都大学百周年時計台記念館, 京都市, 会長西尾亮介, 座長田中道夫. 2011年11月25日

学会発表

染谷由希, 藤田淑香, 高田和子, 丸井英二, 代田浩之, 河合祥雄: 中高年期における体育学部同窓生の生活習慣と糖尿病. 第66回日本体力医学会大会 海峡メッセ下関・下関市生涯学習プラザ. 2011年9月18日

河合祥雄, 加藤清子, 佐賀典生, 染谷由希, 重野利彰, 松下裕里: S県の海水浴場水辺事故発生率と海浜環境との関連. 第66回日本体力医学会大会 海峡メッセ下関・下関市生涯学習プラザ. 2011年9月17日

重野利彰, 河合祥雄, 佐賀典生, 染谷由希, 松下裕里, 加藤卓郎, 千田夏騎: 布製拮抗筋利用器具を用いた変形性膝関節症に対する運動療法の効果. 第66回日本体力医学会大会 海峡メッセ下関・下関市生涯学習プラザ. 2011年9月18日

佐賀典生, 内藤久士, 河合祥雄, 形本静夫: 遅発性筋痛時の温熱処置が筋損傷・筋痛に及ぼす影響. 第66回日本体力医学会大会 海峡メッセ下関・下関市生涯学習プラザ. 2011年9月16日

山本正彦, 佐賀典生, 河合祥雄, 染谷由希, 重野利彰, 松

下裕里：近赤外線分光法を用いた自転車エルゴメーター負荷漸増中における呼吸補助筋の動員について。第66回日本体力医学会大会 海峽メッセ下関・下関市生涯学習プラザ。2011年9月16日

高遠哲也, 芦田映直, 松崎弦, 世古義規, 藤井 潤, 河合祥雄：アドレナリン投与により心室性不整脈が出現した家兎に見られる逆たこつば型心筋症様心基部全周性病変。日本心臓病学会誌 Vol 6(Suppl1): 262, 2011 (第59回日本心臓病学会学術集会抄録集, 262, 2011.) 神戸国際会議場, 2011年9月23日 (金)

深尾宏祐, 島田和典, 宮崎哲朗, 久米淳美, 廣瀬邦章, 蔡榮龍, 松森理枝, 大坂裕通, 増田洋史, 吉原琢磨, 福島理文, 大村寛敏, 内藤久士, 河合祥雄, 形本静夫, 代田浩之：アスリートにおける運動種目と循環器系バイオマーカーとの関連。日本心臓病学会誌 Vol 6(Suppl1)245, 2011 (第59回日本心臓病学会学術集会抄録集, 245, 2011.) 神戸国際会議場, 2011年9月23日

Ikeda K, Takako S, Amamiya Y, Nakamaru S, Kaneko K, Kawai S, Nakajima S, Katamoto S, Yamakura F, Shida N, Iwai H: Changes of blood biomarkers for arteriosclerosis in young throwers. The Inaugural International Academy of Sportology, 順天堂大学本郷キャンパス 有山登記念館講堂。2011年3月5日

Someya Y, Fujita Y, Kawai S, Marui E, Takata K: Early development of hypertension and diabetes mellitus in the alumni of the faculty of physical education. The Inaugural International Academy of Sportology, 順天堂大学本郷キャンパス 有山登記念館講堂。2011年3月5日

市川良子, 大門雅夫, 圓山雅己, 廣瀬邦章, 宮崎彩記子, 川田貴之, 鈴木宏昌, 河合祥雄, 代田浩之：第49回東京心エコー図研究会 東京商工会議所。2011年。5.21

石原智美 河合祥雄 宮坂裕也：ドライスーツ潜水における血圧の変化。第13回水と健康医学研究会, 如水会館, 東京, 座長：鈴木 紅。2011年6月11日

石原智美, 河合祥雄, 青山ゆう, 島田和典, 岡本暉公彦, 滝本正美, 井上 仁, 井上 拓：水中連続血圧計の開発と水中歩行における血圧動態測定。第13回 水と健康医学研究会, 如水会館, 東京, 座長：鈴木 紅。2011年6月11日

河合祥雄, 染谷由希, 藤田淑香, 代田浩之, 丸井英二, 高田和子：順天堂同窓生研究 出身学部による中高年期の生活習慣と疾病の比較。平成22年度スポーツロジセンター・スポーツ健康医科学研究所合同研究報告会, 本郷キャンパス10号館1階カンファレンスルーム。2011年7月1日

河合祥雄, 島田和典, 大門雅夫, 鈴木宏昌：学生アスリートにおける心臓の適応とその変化。平成22年度スポーツロジセンター・スポーツ健康医科学研究所合同研究報告会, 本郷キャンパス 10号館1階カンファレンスルーム。2011年7月1日

佐賀典夫, 形本静夫, 関根紀子, 内藤久士, 河合祥雄; サイクリング愛好家の ACTN3 遺伝子型に関する研究。第19回日本運動生理学会大会。徳島大学三島キャンパス。2011年8月26日。

講演 (含む教育講演)

河合祥雄：ダイバーの為の最新安全・健康管理について。平成23年度 (財)日本体育協会公認指導員更新研修会。(テーマ) ダイバーの為の最新安全・健康管理について, 主催：社会スポーツセンター, 日本体育協会, 新大阪丸ビル新館, 2011年4月24日

河合祥雄：ダイビングにおける呼吸器疾患—特に肺水腫に注目して—。第13回安全潜水を考える会 研究集会 (主催：日本海洋レジャー安全・振興協会, DAN JAPAN, 社会スポーツセンター, レジャー・スポーツダイビング産業協会。後援：日本高気圧環境・潜水医学会, 日本ダイビング連合会, Cカード競技会, 日本スクーバ協会, NPO潜水医学情報ネットワーク。2011年11月12日

河合祥雄：高血圧症を合併する場合の運動プログラム (運動プログラムの管理)。平成22年度健康運動指導士養成講習会, (財)健康・体力づくり事業団, 健康運動者養成事業, TKP代々木ビジネスセンター, 代々木。2011年1月14日

河合祥雄：スポーツ指導者に必要な医学的知識 I。平成23年度千葉県社会体育公認指導者等養成講習会, 千葉県総合スポーツセンター, スポーツ科学センター, 千葉県教育委員会。2011年6月8日

桜庭 景植**【原著】**

Atsushi Kubota, Keishoku Sakuraba, Sadao Koh, Yuji Ogura, Yoshifumi Tamura: Blood flow restriction by low compressive force prevents disuse muscular weakness. *Journal of Science and Medicine in Sports*, 14: 95-99, 2011

Takashi Murakami, Keishoku Sakuraba, Koichi Nagai: Comparison of changes in the transverse abdominal muscle and neighboring fascia in subjects with and without a history of low back pain using ultrasound imaging. *Journal of Physical Therapy Science*, 23(2), 317-322, (2011)

熊崎敏真, 桜庭景植, 廣津信義, 吉村雅文, 窪田敦之, 丸山麻子, 坂井建雄: 日本フットサルリーグ所属の選手に対するアンケート調査—2007年開幕1年目の傷害および環境・意識要因に注目して— 日本臨床スポーツ医学会誌, 19(1), 10-19, 2011

村上幸土, 桜庭景植, 永井康一: 腹横筋の収縮による胸腰筋膜の変化～筋膜を含めた腹横筋の超音波画像に着目して～, 日本臨床スポーツ医学会誌, 19(1), 102-107, 2011

金子雅明, 岡崎倫江, 上條史子, 上田泰久, 柿崎藤泰, 桜庭景植: 前十字靭帯損傷メカニズムの検討—下肢アライメントが片脚着地動作と筋活動に及ぼす影響— 日本臨床スポーツ医学会誌, 19(1), 120-126, 2011

門屋悠香, 桜庭景植, 竹内敏康, 石川拓次: 足関節捻挫経験者における足関節機能評価. *Evaluation of Ankle Joint Function in Athletes with Previous Ankle Sprain*. 整スポ会誌, 31(1): 74-78, 2011

橋本貴幸, 桜庭景植: 足部内在屈筋の筋力トレーニングについて—筋力・足アーチ・動的検査項目への効果検証— *Strength Training for the Intrinsic Flexor Muscle of the Foot: Effects on Muscle Strength, the Foot Arch, and Dynamic Parameters*. 整スポ会誌, 31(2): 41-46, 2011

市毛雅之, 桜庭景植, 菅波盛雄, 廣瀬信良: 高校柔道大会の外傷実態調査. 順天堂スポーツ健康科学研究, 2(4): 161-166, 2011

村上彰宏, 桜庭景植: 投球動作における肩関節水平外転動作と投球肩障害の関連について. 順天堂スポーツ健康科学研究, 2(4): 171-175, 2011

森 陵, 窪田敦之, 根本昌幸, 桜庭景植: 整形外科術後の浮腫・腫脹に対する複合的理学療法の有用性～フェルディエー式リンパドレナージュ手法を中心に介入～ 順天堂スポーツ健康科学研究, 3(1): 42-47, 2011

上岡尚代, 桜庭景植, 中村充, 丸山麻子: 大学剣道選手の傷害についての基礎的検討. 順天堂スポーツ健康科学研究, 3(1): 53-57, 2011

【総説】

久保田光昭, 桜庭景植: 特集 スポーツ障害のリハビリテーション; 国内外の動向. 総合リハビリテーション, 39(9): 831-833, 2011

桜庭景植: 整形外科疾患の保存療法. 第16回前十字靭帯損傷. 整形外科看護, 16(5): 520-526, 2011

桜庭景植: スポーツ障害のリハビリテーション—運動連鎖からのアプローチ—膝前十字靭帯損傷のリハビリテーション—前十字靭帯損傷予防プログラム, 術後療法, 保存療法を中心に— *MB Med Reha*, No137: 83-90, 2011

【著書】

桜庭景植: 整形外科臨床パッセージ 下肢のスポーツ外傷と障害. 中村耕三・宗田大編集. 分担執筆. 下腿の骨折・疲労骨折・筋腱損傷; p305-318, 中山書店, 2011

桜庭景植: 復帰を目指すスポーツ整形外科. 宗田大編集. 分担執筆. 短距離競技, 跳躍競技の外傷・障害(疫学); p256-259, 陸上競技における疲労骨折の早期診断と治療; p260-263, MEDICAL VIEW社, 2011

桜庭景植: アトラス 骨・関節画像診断. 戸山芳昭監修, 分担執筆, 膝蓋骨脱臼, p116-119, 中外医学社, 2011

桜庭景植: スポーツ診療Q&A. 桜庭景植編集, 分担執筆; p8-12, 14-18, 64-85, 120-137, 全日本病院出版会, 東京, 2011

桜庭景植: スポーツ医学研修ハンドブック第2版 基礎科

目, 日本体育協会指導者育成専門委員会スポーツドクター部会監修, 分担執筆, スポーツ現場での救急処置; p234-252, 文光堂, 東京, 2011

桜庭景植: 健康・スポーツ科学テキスト トレーニング科学. 北川 薫 (中京大学学長) 編集, 分担執筆, オーバーエクササイズ; 身体的側面の問題点. p156-169, 文光堂, 2011

【国際発表】

Keishoku Sakuraba, Takuji Ishikawa, Atsushi Kubota, Asako Maruyama, Jiro Shikakura, Hajime Kajiwara, Sadao Ko, Katsuhiko Maezawa: Effect of Isokinetic Resistance Training Under a Condition of Restricted Blood Flow with Pressure. 3rd Combined Meeting of the Japanese and American Orthopaedic Societies for Sports Medicine. Maui, Hawaii, USA, March 26-29, 2011. Final Program & Abstract, p92, 2011

Kubota A, Sakuraba K, Kato H, Ogura Y, Koh S: Passive Exercise with Blood Flow Restriction Increases Cross-Sectional Area and Strength in Thigh Muscles. 16th annual Congress of the ECSS (European College of Sport Science), Liverpool, UK, 6-9th July, 2011

Atsuko Nakaniida, Keishoku Sakuraba, Eric L. Hurwitz: Update of the Most Frequent Pediatric Orthopedic Injuries From a National Inpatient Population. APHA (American Public Health Association) Meetings, 10.29-11.4. 2011. Washington DC, USA

【シンポジウムなど】

桜庭景植: 箱根駅伝からオリンピックへ; シンポジウム, 東京, 読売新聞主催, 2011年11月12日

【国内発表】

伴 好彦, 桜庭景植, 木藤友規, 木村瑞生, 米田継武: SCR 法を用いた運動指令の交感神経活動化の検討. 第88回日本生理学会, 横浜, 3月28-30日, 2011

門屋悠香, 桜庭景植, 石川拓次, 丸山麻子, 窪田敦之, 島寿子, 山本真徳: 足関節不安定性と足関節捻挫再受傷の関係. Relation of ankle instability and ankle sprain re-injury. JOSKAS 日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 2011.6.16-18. 北海道 JOSKAS 36(4): 236, 2011

藤田真平, 桜庭景植, 佐久間和彦, 窪田敦之: 大学生スプリンターの股関節周囲筋力とスプリント能力の関係. 第66回日本体力医学会, 下関市, 山口県, 9月16-18日, 2011. 予稿集: p139, 2011

丸山麻子, 桜庭景植, 若松健太: 大学女子アスリートにおける血清25(OH)Dと骨代謝マーカーの関係—練習環境と季節変動の観点から— 第13回日本骨粗鬆症学会, 骨ドッグ・健診分科会, 神戸, 11月3-5日, 2011. Osteoporosis Japan, vol. 19, Suppl. 1, p251, 2011

橋本貴幸, 桜庭景植: 足部内在屈筋筋力トレーニングによる片脚立位バランスの効果—トレーニング前後における片脚立位重心動揺の比較— 第22回日本臨床スポーツ医学学会学術集会, 青森, 11月4-6日, 2011. 日本臨床スポーツ医学誌, 19(4): s120, 2011

藤田真平, 桜庭景植, 佐久間和彦, 窪田敦之: 大学生スプリンターの股関節周囲筋筋力および大腰筋の横断面積とスプリントパフォーマンスとの関係. 第22回日本臨床スポーツ医学学会学術集会, 青森, 11月4-6日, 2011. 日本臨床スポーツ医学誌, 19(4): s122, 2011

丸山伸也, 桜庭景植, 越智英輔, 若松健太: 大学女子ラクロス選手における骨代謝マーカー・骨質関連マーカーに関する研究—競技レベルの相違に着目して— 第22回日本臨床スポーツ医学学会学術集会, 青森, 11月4-6日, 2011. 日本臨床スポーツ医学誌, 19(4): s164, 2011

若松健太, 桜庭景植, 丸山麻子, 鹿倉二郎, 鈴木良雄, 丸山伸也, 越智英輔: 大学女子スポーツ選手における骨代謝マーカーおよび骨質関連マーカーに関する研究. 第22回日本臨床スポーツ医学学会学術集会, 青森, 11月4-6日, 2011. 日本臨床スポーツ医学誌, 19(4): s163, 2011

福土徳文, 桜庭景植, 柳谷登志雄, 廣瀬信良, 吉村雅文, 青葉幸洋: 人工芝と天然芝上で行うターン動作における足底圧の相違—第5中足骨疲労骨折との関連を中心に— 第22回日本臨床スポーツ医学学会学術集会, 青森, 11月4-6日, 2011. 日本臨床スポーツ医学誌, 19(4): s172, 2011

金子雅明, 桜庭景植, 鹿倉二郎, 大島基紀, 岡崎倫江, 柿崎藤泰: 片脚着地動作における下肢アライメントと着地直後筋活動との関係—膝関節外反に着目して— 第22回日本

臨床スポーツ医学会学術集会, 青森, 11月4-6日, 2011.
日本臨床スポーツ医学会誌, 19(4): s194, 2011

村上幸士, 桜庭景植, 永井康一: 腰痛発症期間において比較した腹横筋・胸腰筋膜移行部の変化. 第22回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 青森, 11月4-6日, 2011. 日本臨床スポーツ医学会誌, 19(4): s203, 2011

窪田敦之, 桜庭景植, 小倉裕司, 藤田真平, 鈴木大地, 洪定男: 大学男子水泳競技者の筋力および筋横断面積に, 血流制限下で行う他動的運動が及ぼす影響. 第22回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 青森, 11月4-6日, 2011. 日本臨床スポーツ医学会誌, 19(4): s212, 2011

【講演】

桜庭景植: 陸上競技選手における膝の慢性障害. 第21回日本陸上競技連盟トレーナー研修会. 大阪, 1月8日, 2011

桜庭景植: スポーツ行事と安全管理～現場における救急処置～ 日本医師会認定健康スポーツ医研修会, 東京, 1月22日, 2011

桜庭景植: 地域・職場で役に立つ運動療法の実際, 墨田区医師会産業医研修会, 1月30日, 東京, 2011

桜庭景植: スポーツ外傷・障害の基礎知識; 下肢・下腿, 日本体育協会公認アスレチックトレーナー養成講習会 2月1日 東京, 2011

桜庭景植: スポーツ行事と安全管理～現場における救急処置～ 日本体育協会公認スポーツドクター講習会, 東京, 2月20日, 2011

桜庭景植: スポーツにおける救急処置の実際・実技. 東京都健康スポーツ医講習会, 東京, 5月14日, 2011

桜庭景植: 下腿・足のスポーツ外傷. 関東大学バスケットボールトレーナー会, 東京, 6月25日, 2011

桜庭景植: 運動療法～膝関節の筋力トレーニングおよび血流制限の効果を中心に～ 平成23年度愛媛県医師会健康スポーツ医部会総会, 特別講演, 平成23年8月6日, 松山, 2011

桜庭景植: スポーツ選手の疲労骨折の早期診断～MRI, 骨代謝マーカーなど含めて～ 第21回長崎スポーツ医科学研究会, 特別講演, 平成23年10月11日, 長崎, 2011

桜庭景植: スポーツ指導者に必要な医学的知識Ⅱ(外科). 日本体育協会公認スポーツ指導者養成講習会. 平成23年11月24日, 東京, 2011

桜庭景植: スポーツ現場での救急処置. 日本医師会健康スポーツ医講習会, 東京, 平成23年11月27日, 2011

桜庭景植: 中高年の運動療法—介護予防をふまえて— 日本健康増進施設協会 平成23年度経営セミナー. 平成23年12月8日, 京都, 2011

【そのほか】

桜庭景植: 朝日新聞 be, 2011年10月8日; 元気のひけつ

桜庭景植: 読売新聞, 2011年11月30日; 箱根駅伝からオリンピックへ; シンポジウム (見開き2ページ)

【チームドクター活動】

順天堂大学バスケットボール部

男子 リーグ戦 2部 7位

女子 トーナメント ベスト6位 リーグ戦 2部優勝
1部昇格

トヨタ自動車バスケットボール部 オールジャパン3位
リーグ戦3位

明治大学ラグビー部 対抗戦3位

富士通 陸上部 実業団優勝 ニューイヤー駅伝 準優勝
テグ世界陸上選手権 帯同 (室伏広治金メダル)

鹿倉 二郎

【著書 (分担執筆)】

新スポーツトレーナーマニュアル; 「諸外国におけるスポーツトレーナーの歴史と現状・課題 米国」(4～8頁), 「諸外国におけるスポーツトレーナーの歴史と現状・課題 WFATT」(16～18頁), 「日本におけるスポーツトレーナーの歴史と現状・課題 日本体育協会アスレチックトレーナー」(19～23頁), 「テーピング」(182～187頁), 「テーピング用テープ」(428～431頁); 武藤芳照, 鹿倉二郎, 小林寛和編集, 南江堂, 2011年8月.

スポーツ診療 Q&A ; 「筋肉・筋力トレーニング」(26~40頁) : 桜庭景植編集, 全日本病院出版会, 2011年9月.

【学会発表】

スタビライゼーショントレーニングが立位バランスに及ぼす影響について : 江波戸智希, 鹿倉二郎, 広瀬統一, 第66回日本体力医学会大会, 2011年9月.

大学女子スポーツ選手における骨代謝マーカーおよび骨質関連マーカーに関する研究 : 若松健太, 桜庭景植, 丸山麻子, 鹿倉二郎, 鈴木良雄, 丸山伸也, 越智英輔, 第22回臨床スポーツ医学会学術集会, 2011年11月.

片脚着地動作における下肢アライメントと着地直後筋活動との関係—膝関節外反に着目して— : 金子雅明, 桜庭景植, 鹿倉二郎, 大島基紀, 岡崎倫江, 柿崎藤泰, 第22回臨床スポーツ医学会学術集会, 2011年11月.

内藤 久士

【論文等】

Ogura Y, Iemitsu M, Naito H, Kakigi R, Kakehashi C, Maeda S, Akema T. Single bout of running exercise changes LC3-II expression in rat cardiac muscle. *Biochem Biophys Res Commun.* 414(4): 756-60 (2011)

内藤久士. 運動能力を引き出す遺伝と多様性の科学(6) ACTN3 遺伝子多型と運動能力. *体育の科学.* 61(9): 691-696 (2011)

Sakurai Y, Tamura Y, Takeno K, Kumashiro N, Sato F, Kakehi S, Ikeda S, Ogura Y, Saga N, Naito H, Katamoto S, Fujitani Y, Hirose T, Kawamori R, and Watada H. Determinants of intramyocellular lipid accumulation after dietary fat loading in non-obese men. *J Diab Invest* 2: 310-317 (2011)

Ogura Y, Naito H, Kakigi R, Ichinoseki-Sekine N, Kurosaka M, Yoshihara T, Akema T. Effects of ageing and endurance exercise training on alpha-actinin isoforms in rat plantaris muscle. *Acta Physiol (Oxf).* 202(4): 683-90 (2011)

Radak Z, Bori Z, Koltai E, Fatouros IG, Jamurtas AZ, Douroudos II, Terzis G, Nikolaidis MG, Chatzinikolaou A,

Sovatzidis A, Kumagai S, Naito H, Boldogh I. Age-dependent changes in 8-oxoguanine-DNA glycosylase activity are modulated by adaptive responses to physical exercise in human skeletal muscle. *Free Radic Biol Med.* 51(2): 417-23 (2011)

澤田 亨, 柿木 亮, 内藤久士, 岡本隆史, 塚本浩二, 武藤孝司. 2型糖尿病罹患に対する飲酒習慣, 有酸素能力の相互作用に関するコホート研究. *運動疫学研究.* 13(1): 37-43 (2011)

Kakigi R, Naito H, Ogura Y, Kobayashi H, Saga N, Ichinoseki-Sekine N, Yoshihara T, Katamoto S. Heat stress enhances mTOR signaling after resistance exercise in human skeletal muscle. *J Physiol Sci.* 61(2): 131-40 (2011)

内藤久士. 現代のわが国の子どもの体力とは—文部科学省子どもの各種体力テスト成績から(特集 年代別・疾患別にみた小児のスポーツ医学). *臨床スポーツ医学.* 28(2), 123-129 (2011)

Goto K, Oda H, Kondo H, Igaki M, Suzuki A, Tsuchiya S, Murase T, Hase T, Fujiya H, Matsumoto I, Naito H, Sugiura T, Ohira Y, Yoshioka T. Responses of muscle mass, strength and gene transcripts to long-term heat stress in healthy human subjects. *Eur J Appl Physiol.* 111(1): 17-27 (2011)

【著書】

スポーツ白書～スポーツが目指すべき未来～ 第5章 子どものスポーツの「1. 体力運動能力の推移」(pp102-105) 笹川スポーツ財団. (2011)

目で見る運動生理学第2版. DVDメディアによる健康・保健シリーズVOL. 5 トレーニングの科学, 医学映像教育センター. (2011)

【専門誌・報告書等】

内藤久士, 廣津信義, 関根紀子その他体育局担当官3名. 平成二十二年度体力・運動能力調査報告書 文部科学省 (2011)

内藤久士, 柿木 亮, 吉原利典, 形本静夫. 長時間サイクリングが血清熱ショックたんぱく質に及ぼす影響. 平成22年度「自転車による健康づくりのための自然科学的研究」報告書, 48-54 (2011)

内藤久士. NSCA ジャパン第10回総会より 子どもの体力の現状と課題. *Strength & conditioning journal*. 18(1): 2-6 (2011)

【シンポジウム講演等】

ACTN3 遺伝子型と骨格筋 (遺伝子からみた骨格筋の運動能力の関わり). 日本運動生理学会 第19回大会 (徳島) シンポジウム. 平成23年 8月25日

内藤久士. 地域の健康づくりにはたす大学の役割. *体力科学*, 60(1), p57 (2011)

【国際 (海外) 学会発表】

Kakigi R, Naito H, Ogura Y, Ichinoseki-Sekine N, Yoshihara T, Katamoto S. Effects of intermittent heat stress with or without strength training on rat skeletal muscle. *Inaugural International Academy of Sportology*, Tokyo, 平成23年 3月

Koyama K, Naito H, Yanagiya T. Different in the impact force and muscle activity during barefoot and shod walking. *Inaugural International Academy of Sportology*, Tokyo, 平成23年 3月

Nakagata T, Naito H, Tanaka H, Kiyonaga A. Effect of habitual cigarette smoking on maximal aerobic capacity and cardiorespiratory responses. *Inaugural International Academy of Sportology*, Tokyo, 平成23年 3月

Ichinoseki-Sekine N, Yoshihara T, Ogura Y, Sugiura T, Powers SK, Naito H. Fiber-specific expression of alpha-actinin-3 protein in rat diaphragm. *Experimental Biology 2011*, Washington DC, USA, 平成23年 4月

Yoshihara T, Naito H, Kakigi R, Ichinoseki-Sekine N, Sugiura T, Katamoto S. Heat stress-induced autophagic regulations in rat skeletal muscle. *Biology 2011*, Washington DC, USA, 平成23年 4月

Tsuzuki T, Kobayashi H, Naito H, Katamoto S. The effects of heat treatment on AMPK activation in skeletal muscle in type 2 diabetic rats. *Biology 2011*, Washington DC, USA, 平成23年 4月

Ogura Y, Naito H, Kakigi R, Ichinoseki-Sekine N, Akema

T. Adaptation of alpha-actinin isoforms to endurance exercise training in adult and old rat plantaris muscle. *The American College of Sports Medicine 58th Annual Meeting*, Denver, USA, 平成23年 5月, *Med Sci Sports Exerc.* 43: 5 supplement, S206, 2011.

Kakigi R, Naito H, Ogura Y, Kobayashi H, Saga N, Ichinoseki-Sekine N, Yoshihara T, Katamoto S. Effects of resistance exercise with heat stress on mTOR signaling in human skeletal muscle. *The American College of Sports Medicine 58th Annual Meeting*, Denver, USA, 平成23年 5月, *Med Sci Sports Exerc.* 43: 5 supplement, S208, 2011.

Yoshihara T, Naito H, Kakigi R, Ichinoseki-Sekine N, Sugiura T, Katamoto S. Effects of heat stress on Akt/mTOR signaling in rat skeletal muscle. *The American College of Sports Medicine 58th Annual Meeting*, Denver, USA, 平成23年 5月, *Med Sci Sports Exerc.* 43: 5 supplement, S282, 2011.

Sato K, Iemitsu M, Matsutani K, Hamaoka T, Kurihara T, Naito H, Fujita S. Regulation of hypertrophic signaling pathways to a low-volume resistance exercise in older individuals. *The American College of Sports Medicine 58th Annual Meeting*, Denver, USA, 平成23年 5月, *Med Sci Sports Exerc.* 43: 5 supplement, S282, 2011.

Tsuzuki T, Kobayashi H, Naito H, Katamoto S. The effects of heat treatment on glucose tolerance in type 2 diabetic rats. *The American College of Sports Medicine 58th Annual Meeting*, Denver, USA, 平成23年 5月, *Med Sci Sports Exerc.* 43: 5 supplement, S411, 2011.

Ozaki H, Naito H, Nakagata T, Kitada T, Katamoto S. Cardiovascular Responses To Combined Elastic Tube And Walking Exercises. *The American College of Sports Medicine 58th Annual Meeting*, Denver, USA, 平成23年 5月, *Med Sci Sports Exerc.* 43: 5 supplement, S356, 2011.

Nakagata T, Naito H, Katamoto S. The Effects Of Transdermal Nicotine Patch On Cardiorespiratory Responses During Aerobic Exercise. *The American College of Sports Medicine 58th Annual Meeting*, Denver, USA, 平成23年 5月, *Med Sci Sports Exerc.* 43: 5 supplement, S382, 2011.

Sawada SS, Lee IM, Naito H, Okamoto T, Tsukamoto K, Muto T, Higaki H, Tanaka H, Blair SN. Long-term trends in cardiorespiratory fitness and the incidence of hypertension. The American College of Sports Medicine 58th Annual Meeting, Denver, USA, 平成23年 5 月, Med Sci Sports Exerc. 43: 5 supplement, S544, 2011.

Ichinoseki-Sekine N, Naito H, Yoshihara T, Tsuchihara K, Esumi H. Effects of Snark-deficiency on whole-body metabolism with high fat diet. The American College of Sports Medicine 58th Annual Meeting, Denver, USA, 平成23年 5 月, Med Sci Sports Exerc. 43: 5 supplement, S565, 2011.

Ichinoseki-Sekine N, Yoshihara T, Ogura Y, Sugiura T, Powers SK, Naito H. Effects of 12-h mechanical ventilation on fibre-specific expression of alpha-actinin-3 protein in rat diaphragm. The 16th Annual Congress of the European College of Sport Science, Liverpool, UK, 平成23年 7 月

Kakigi R, Naito H, Murade S, Yoshihara T, Nakagata T, Ozaki H, Katamoto S. Endurance cycling exercise increases serum heat shock protein 72 in humans. The 16th Annual Congress of the European College of Sport Science, Liverpool, UK, 平成23年 7 月

Ozaki H, Murade S, Kakigi R, Nakagata T, Yoshihara T, Katamoto S, Naito H. The effects of the difference of cycling time on energy dynamics and biochemical markers of heart damage for Japanese recreational cyclists. The 16th Annual Congress of the European College of Sport Science, Liverpool, UK, 平成23年 7 月

Nakagata T, Murade S, Ishihara Y, Katamoto S, Naito H. Aerobic work capacity in Japanese middle-aged recreational cyclists. The 16th Annual Congress of the European College of Sport Science, Liverpool, UK, 平成23年 7 月

Yoshihara T, Naito H, Kakigi R, Ichinoseki-Sekine N, Sugiura T, Katamoto T. Effects of heat stress on Akt/mTOR signaling in rat skeletal muscle. The 16th Annual Congress of the European College of Sport Science, Liverpool, UK, 平成23年 7 月

Ishihara Y, Naito H, Aoba Y, Yoshimura M. Offside deci-

sion making skills of assistant referees in football improve after 12-week training using video feedback. The 16th Annual Congress of the European College of Sport Science, Liverpool, UK, 平成23年 7 月

Kitada T, Sasaki H, Naito H. Effects of pacing strategy on performance and anaerobic energy contribution during maximal pedaling. The 16th Annual Congress of the European College of Sport Science, Liverpool, UK, 平成23年 7 月

【国内学会発表】

澤田 亨, 塚本浩二, 内藤久士, 武藤孝司, 田中宏暁, 松垣靖樹. 有酸素能力(全身持久力)の変化と資質異常症に関するコホート研究. 第21回日本疫学会学術総会, 札幌, 平成23年 1 月

吉原利典, 形本静夫, 内藤久士. 日常的なサイクリングが血清の抗酸化能力に及ぼす影響. 第18回日本健康体力栄養学会, 東京, 平成23年 3 月

都築孝允, 小林裕幸, 内藤久士, 形本静夫. 温熱処置が糖尿病ラットの耐糖能およびインスリン抵抗性に及ぼす影響. 第18回日本健康体力栄養学会, 東京, 平成23年 3 月

高嶺由梨, 形本静夫, 吉原利典, 内藤久士. ソールが不安定なシューズの着用が最大下トレッドミル歩行時の呼吸循環器応答に及ぼす影響. 第18回日本健康体力栄養学会, 東京, 平成23年 3 月

関根紀子, 吉原利典, 杉浦崇夫, 内藤久士. 12時間の機械的人工換気がラット横隔膜における α アクチニン3タンパク質の筋線維特異的発現に及ぼす影響. 第19回日本運動生理学会大会, 徳島, 平成23年 8 月

佐賀典生, 形本静夫, 関根紀子, 内藤久士, 河合祥雄. サイクリング愛好者のACTN3遺伝子型に関する研究. 第19回日本運動生理学会大会, 徳島, 平成23年 8 月

尾崎隼朗, 内藤久士, 形本静夫. レジスタンストレーニングにおける運動強度の違いが頸動脈コンプライアンスに与える影響. 第19回日本運動生理学会大会, 徳島, 平成23年 8 月

吉原利典, 杉浦崇夫, 内藤久士. 尾部懸垂からの再負荷

中における温熱処置はカルパイン自己分解を抑制する. 第19回日本運動生理学会大会, 徳島, 平成23年8月

佐藤幸治, 家光泰行, 松谷健司, 浜岡隆文, 栗原俊之, 内藤久士, 藤田 聡. 一過性レジスタンス運動時の筋タンパク質合成関連シグナル経路調節—加齢の影響. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 平成23年9月, 体力科学60(6): 625

関根紀子, 吉原利典, 柿木 亮, 小倉裕司, 杉浦崇夫, 内藤久士. ラット横隔膜における α アクチニン3タンパク質の筋線維特異的発現. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 平成23年9月, 体力科学60(6): 626

吉原利典, 内藤久士, 柿木 亮, 関根紀子, 杉浦崇夫, 形本静夫. 温熱負荷がラット骨格筋のAkt/mTORシグナル伝達に与える影響. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 平成23年9月, 体力科学60(6): 627

都築孝允, 小林裕幸, 内藤久士, 吉原利典, 柿木 亮, 関根紀子, 形本静夫. 温熱処置が2型糖尿病ラットの骨格筋におけるAMPK活性化に及ぼす影響. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 平成23年9月, 体力科学60(6): 627

杉浦崇夫, 吉原利典, 芝口 翼, 後藤勝正, 西郷真奈美, 内藤久士, 大森大二郎, 吉岡利忠. 筋核アポトーシスからみた熱ストレス負荷, アスタキサンチン投与ならびにそれらの組み合わせによる筋萎縮抑制効果について. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 平成23年9月, 体力科学60(6): 630

柿木 亮, 尾崎隼朗, 小林裕幸, 三浦 晋, 関根紀子, 吉原利典, 内藤久士. レジスタンス運動後のホエイペプチド摂取がヒト骨格筋mTORシグナル伝達に及ぼす影響. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 平成23年9月, 体力科学60(6): 634

尾崎隼朗, 内藤久士, 中潟 崇, 北田友治, 窪田敦之, 形本静夫. コンバインドトレーニングにおける持久性運動の強度の違いがトレーニング効果に及ぼす影響. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 平成23年9月, 体力科学60(6): 634

中潟 崇, 内藤久士, 形本静夫. 経皮的ニコチン吸収が

有酸素運動中の呼吸循環応答に及ぼす影響. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 平成23年9月, 体力科学60(6): 642

村出真一郎, 佐賀典生, 形本静夫, 内藤久士. フリーローラー走行による一般サイクリストの至適ケイデンスの検討. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 平成23年9月, 体力科学60(6): 647

石原美彦, 内藤久士, 形本静夫. 年齢カテゴリー別にみたサッカー審判員の運動強度. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 平成23年9月, 体力科学60(6): 649

佐賀典生, 内藤久士, 河合祥雄, 形本静夫. 遅発性筋痛時の温熱処置が筋損傷・筋痛に及ぼす影響. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 平成23年9月, 体力科学60(6): 756

仲間孝大, 形本静夫, 内藤久士. 箱根駅伝出場を目指す大学長距離選手の有酸素能力とトレーニング上の課題に関する事例研究. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 平成23年9月, 体力科学60(6): 770

小山桂史, 柳谷登志雄, 内藤久士. 靴の着用が歩行中の下肢の動作および骨格筋の力発揮に及ぼす影響. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 平成23年9月, 体力科学60(6): 831

柳谷登志雄, 渡辺圭佑, 内藤久士, 朴商供, 奇善京, 李美淑. ACTN3遺伝子型は子どもの疾走能力を決定するか?. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 平成23年9月

小倉裕司, 内藤久士, 柿木 亮, 関根紀子, 黒坂光寿, 明間立雄. 加齢および持久性トレーニングがラット足底筋の α アクチニンアイソフォームに及ぼす影響. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 平成23年9月

柳谷登志雄, 小山桂史, 渡辺圭佑, 内藤久士. Unstable shoesを着用して歩行する際の下腿三頭筋の動態. 第62回日本体育学会大会, 鹿児島, 平成23年9月

渡辺圭佑, 柳谷登志雄, 朴商供, 李美淑, 内藤久士. 子どもにおける下肢スティフネスとアクチニン3遺伝子の関連性. 第62回日本体育学会大会, 鹿児島, 平成23年9月

佐藤寛人, 形本静夫, 内藤久士. 暑熱環境下での休息時の送風が最大下運動中の呼吸循環応答に及ぼす影響. 第54回卒業論文・修士論文発表会(日本女子体育連盟)平成23年2月

都築孝允, 内藤久士, 形本静夫. 温熱処置が糖尿病ラットの耐糖能及びインスリン抵抗性に及ぼす影響. 第54回卒業論文・修士論文発表会(日本女子体育連盟)平成23年2月

細田陽平, 内藤久士, 形本静夫. クライオストレッチングが遅発性筋痛に及ぼす影響. 第54回卒業論文・修士論文発表会(日本女子体育連盟)平成23年2月

本田洋亮, 形本静夫, 内藤久士. 異なる負荷による超最大ベダリングトレーニングが自転車エルゴメータの運動における負荷—パワー関係に及ぼす影響. 第54回卒業論文・修士論文発表会(日本女子体育連盟)平成23年2月

前任准教授

鈴木 良雄

【原著】

Suzuki Y, Asano M, Sato K, Asami M, Sakamoto A, Tsutsumi M, Kido Y. Wheat gluten hydrolysate alters the progress of hepatic pathology induced by prolonged carbon tetrachloride administration in rat. *Biomed Res.* 22(4): 481-488, 2011

清水智美, 今西昭雄, 杉本健一, 武田信彬, 平田龍三, 安藤 隆, 森川征一, 鈴木良雄, 渡辺雅之, 奥田美穂, 川名孝幸, 涛川 唯, 鈴木政登, 渡邊マキノ, 岡田隆夫, 太田眞. 超長時間持久的負荷(24時間走)における炎症およびストレス反応の推移. *臨床病理* 59(10): 930-935, 2011

【総説】

鈴木良雄. スポーツにおけるアミノ酸の使用法とその効果. *順天堂医学* 57(2): 95-99, 2011

鈴木良雄. スポーツと抗疲労 小麦グルテン加水分解物(WGH)とアスリート. *Food Style* 21 15(3): 43-45, 2011

【学会発表】

堀井 翔, 平井 静, 江頭祐嘉合, 小野 慎, 鈴木良雄, 新村由紀. ピログルタミンペプチドによるマクロファージ

の炎症抑制機構. *アミノ酸研究*. Vol. 4 No. 2 Page. 187 (2011.02)

堀井 翔, 平井 静, 江頭祐嘉合, 鈴木良雄, 新村由紀. ピログルタミンペプチドによる炎症抑制メカニズムに関する研究. *日本栄養・食糧学会大会講演要旨集*. Vol. 65th Page. 126 (2011.04.25)

若松健太, 桜庭景植, 丸山麻子, 鹿倉二郎, 鈴木良雄, 丸山伸也, 越智英輔. 大学女子スポーツ選手における骨代謝マーカーおよび骨質関連マーカーに関する研究. *日本臨床スポーツ医学会誌*. Vol. 19 No. 4 Page. S163 (2011.10.10)

鯉川なつえ, 青木和浩, 仲村 明, 鈴木良雄, 長岡 功, 矢澤一良, 植田文教, 澤木啓祐. 抗酸化サプリメント「オキシバリア」の摂取が長距離ランナーの競技力向上に及ぼす効果. 第10回日本陸上競技学会大会, 神奈川, 平成23年12月.

廣津 信義

【論文】

Reconsideration of the best batting order: Is the order to maximize the expected number of runs really the best? N. Hirotsu. *Journal of Quantitative Analysis in Sports*, 7(2), Article 13 (2011).

リレー競技の走者の選定に関する数理的手法—タイムの予想分布を任意に想定した際の目標達成確率の計算方法—. 廣津信義, 仲村 明, 金子今朝秋. *順天堂スポーツ健康科学研究*, 3(1), 9-18 (2011).

日本フットサルリーグ所属の選手に対するアンケート調査—2007年開幕1年目の傷害および環境・意識要因に注目して. 熊崎敏真, 桜庭景植, 廣津信義, 吉村雅文, 窪田敦之, 丸山麻子, 坂井建雄. *日本臨床スポーツ医学会誌*, 19(1), 10-19 (2011).

【国際学会発表】

A relationship between DEA and Sabermetrics in evaluation of baseball players. N. Hirotsu. 3rd International Conference on Mathematics in Sport (Manchester, UK). 平成23年6月24日. *Proceedings of IMASport2011*, 79-85 (2011).

Helping Students Understand Basic Probability through a Method for Calculating Probabilities in Ball Games According to Scores During the Matches. N. Hirotsu. 19th Triennial Conference of the International Federation of Operational Research Societies (Melbourne). 平成23年7月11日. Book of Abstract, 10 (2011).

【国内学会発表】

ワールドベースボールクラシック(WBC)の対戦方式に関する確率計算(その2). 廣津信義, 須崎政文, 尾崎俊治. 2011年日本OR学会秋季研究発表会(神戸). 平成23年9月16日. 2011年日本OR学会秋季研究発表会アブストラクト集, 244-245 (2011).

経営効率分析法(DEA)を利用したJリーグ選手の特徴の評価. 廣津信義, 青葉幸洋, 福土徳文, 吉村雅文. 日本体育学会第62回大会(鹿屋). 平成23年9月26日. 予稿集, 199 (2011).

【その他】

性差関連疾患の定量的プロテオミクス解析. 柳田光昭, 関川 巖, 瀬山邦明, 廣津信義. 順天堂医学, 57(1), 71-72 (2011)

着地動作の制御性に関する研究. 米田継武, 加納實, 濱野光之, 廣津信義. 順天堂スポーツ健康科学研究, 2(Sup), 5 (2011)

柳谷登志雄

【著書】

- 1) 柳谷登志雄 こうすれば, 子どもの足は速くなる! PHP のびのび子育て. 増刊号, 2011年9月
- 2) 柳谷登志雄 チーム瞬足の運動会必勝バイブル 幻冬舎エデュケーション. 2011年3月

【原著論文】

- 1) Ishii H, Yanagiya T, Naito H, Katamoto S, Maruyama T. Theoretical Study of Factors Affecting Ball Velocity in In-step Soccer Kicking. J Appl Biomech. 2011 In Press.

【学会発表】

- 1) 土田博史, 柳谷登志雄, 間欠的スプリント走トレーニングがスカッシュ選手の体力的要因に及ぼす影響につい

て. 第24回日本トレーニング科学学会大会, 東京 11/5-6, 2011

- 2) 八木本夏子, 柳谷登志雄, 青木和浩, 越川一紀, 金子今朝秋. 女子大学生競技者の月経周期が跳躍パフォーマンスに及ぼす影響. 第24回日本トレーニング科学学会大会, 東京 11/5-6, 2011

- 3) 各務泰輝, 柳谷登志雄. ソルボセインの衝撃緩衝性について. 第24回日本トレーニング科学学会大会, 東京 11/5-6, 2011

- 4) 吉木侑平, 柳谷登志雄. ランニング用 Unstable shoes を用いることで筋活動量は増大するのか? 第24回日本トレーニング科学学会大会, 東京 11/5-6, 2011

- 5) 齋藤小百合, 柳谷登志雄. 子ども用運動靴に“Ankle Support Hold Racing System”を用いて足首をホールドすることが疾走タイムを向上させるのか. 第24回日本トレーニング科学学会大会, 東京 11/5-6, 2011

- 6) 柳谷登志雄. 小山桂史, 内藤久士. Unstable shoes を着用して歩行する際の下腿三頭筋の動態. 日本体育学会第62回大会, 鹿児島 9/25-27, 2011. 日本体育学会大会予稿集. 62. P138. 2011

- 7) 石井達哉, 越川一紀, 佐久間和彦, 柳谷登志雄. キネマティクスの変化からみた短距離走の減速要因の検討. 日本体育学会第62回大会, 鹿児島 9/25-27, 2011. 日本体育学会大会予稿集. 62. P156. 2011

- 8) 出浦教行, 柳谷登志雄, 渡辺圭佑, 佐久間和彦, 李美淑. 400mハードル競走, 日本人選手はハードリングが巧みか? 日本体育学会第62回大会, 鹿児島 9/25-27, 2011. 日本体育学会大会予稿集. 62. P157, 2011

- 9) 小山桂史, 内藤久士, 柳谷登志雄. 靴の着用が歩行中の下肢の動作および骨格筋の力発揮に及ぼす影響. 日本体力医学会 第66回大会, 山口 9/16-18, 2011

- 10) 渡辺圭佑, 柳谷登志雄, 朴 商供, 李 美淑, 内藤久士. 子どもにおける下肢スティフネスとアクチニン3遺伝子の関連性. 日本体育学会第62回大会, 鹿児島 9/25-27, 2011

- 11) 柳谷登志雄, 渡辺圭佑, 内藤久士, 朴 商供, 奇善京, 李 美淑. ACTN3 遺伝子型は子どもの疾走能力を決定するか?. 第66回日本体力医学会大会, 山口 9/16-18, 2011

- 12) Keiji Koyama, Hisashi Nito, Toshio Yanagiya. Difference in the impact force and muscle activity during barefoot and shod walking. The Inaugural International Academy of Sportology, Tokyo 2011. 3/6 2011

- 13) Keisuke Watanabe, Hisashi Naito, Toshio Yanagiya.

Characteristic of leg stiffness in children. The Inaugural International Academy of Sportology, Tokyo 2011. 3/6 2011

助手

荻原 朋子

【著書】

学習者論：学習者の素朴概念と学習指導.

荻原朋子, 鬼澤陽子, 「体育科教育学の現在」, 日本体育科教育学会編, 創文企画: pp. 152-165, 2011.

【学会発表】

Teaching strategy for correcting naive conception in an overhand volleyball pass skill among seventh grade PE students.

T. Ogiwara, Y. Okade, R. Suko, K. Yomoda & T. Imazeki, AIESEP World Congress in Limerick, Ireland, 2011.

【講師等】

第15回体育授業研究会研究企画「模擬授業を活用した体育の授業づくり」授業提案者(バレーボール)(2011. 8. 6-8) 東京都瑞穂町立瑞穂第二中学校校内研究会講師「言語活動を通して生きる力をはぐくむ体育授業」(2011. 10. 11)

河村 剛光

【論文等】

1. 高橋友輝, 河村剛光, 青木和浩, 原田陸巳, 富田洋之, 金子今朝秋. 棒高跳選手の競技力に関する体操競技の技の習得度. 陸上競技研究. 86, 18-25 (2011)
2. Kohmura Y. and Aoki K. Gender differences in saccadic eye movement among students at a sports university. The Inaugural International Academy of Sportology (in press)

〈その他 報告〉

3. 体格体力累加測定委員会. 2010年度順天堂大学体格体力累加測定. 順天堂スポーツ健康科学研究. 第2巻 Supplement, 23~32 (2011)
4. 合同シンポジウム実行委員会. 第7回順天堂大学スポーツ健康科学部・第47回順天堂スポーツ医学研究会合同シンポジウム報告. 順天堂スポーツ健康科学研究. 第2巻 Supplement, 13~22 (2011)

【学会発表等】

1. 河村剛光, 村上茂樹, 青木和浩, 青野武志. 中年者における機能カラーレンズの使用と視機能. 日本トレーニング科学会 第24回大会抄録集, p 74. 2011.
2. 河村剛光, 村上茂樹, 青木和浩, 高橋友輝, 青野武志. 機能カラーレンズの使用と中年者の視機能. 第18回スポーツビジョン研究集会 抄録集, 2011.
3. 青木邦成, 河村剛光, 鹿倉二郎, 佐久間和彦, 越川一紀, 青木和浩, 金子今朝秋. 大学陸上競技選手における試合調整期のコンディション評価に関する研究. 日本陸上競技学会第10回大会 抄録集, p 25, 2011.
4. 高橋友輝, 金子今朝秋, 河村剛光, 青木和浩, 越川一紀, 青野武志. 棒高跳選手における助走の正確性に関する研究. 日本陸上競技学会第10回大会 抄録集, p 24, 2011.
5. 秋元延大, 佐久間和彦, 青木和浩, 河村剛光, 窪田敦之, 藤田晋平, 金子今朝秋. ハードルジャンプトレーニングが大学男子短距離競技者の疾走能力および股関節筋力に及ぼす影響. 日本陸上競技学会第10回大会 抄録集, p 24, 2011.
6. Kohmura Y. and Aoki K.
Gender differences in saccadic eye movement among students at a sports university.
Inaugural International Academy of Sportology (1st Congress), Program & Abstracts, p 23
7. 活動・研究報告. 順天堂大学スポーツ健康科学部ワークショップ(平成23年度大学スポーツ研究活動資源活用事業)さくらキャンパス. 2011.12.4.

木藤 友規

【学会発表】

Study of sympathetic nerve activity driven by voluntary motor command using skin conductance response

Ban Y., Sakuraba K., Kito T., Kimura M., Yoneda T., The 88th Annual Meeting of The Physiological Society of Japan and the 116th Annual Meeting of The Japanese Association of Anatomists

Effect of heat shock protein 70 on macrophage induced inflammatory cytokines

Naraoka Y., Hosomi O., Kito T., Yoneda T., Inaugural International Academy of Sportology, 2011.

Influence of short-time COORDINATION motor tasks on response time

Nakazawa T., Kito T., Takeuchi T., Inaugural International Academy of Sportology, 2011.

バスケットボールにおけるコーディネーション運動の活用
中澤朋美, 越川瑞紀, 木藤友規, 竹内敏康, 平成23年度第1回千葉体育学会, 2011年6月

Significance of skin conductance responses revealed by GO/NOGO motor task

Yoneda T., Ban Y., Kito T., Kimura M. and Sakuraba K., ECSS, Liverpool 2011.

運動肢位に依存した協働筋の反射調節

木藤友規, 米田継武, 第62回日本体育学会大会, 2011年9月

—コーチング科学コース—

教授

金子今朝秋

【学術論文】

高橋友輝, 河村剛光, 青木和浩, 原田睦巳, 富田洋之, 金子今朝秋. 棒高跳選手の競技力に係る体操競技の技の習得度. 陸上競技研究 86, 18~25, 2011.9

中山 東, 高梨雄太, 青木和浩, 柳谷登志雄, 金子今朝秋. 踏み台からの落下を利用したグライド動作トレーニングが砲丸投のパフォーマンスに及ぼす影響. 陸上競技研究 86, 34~41, 2011.9

廣津信義, 仲村 明, 金子今朝秋. リレー競技の走者の選定に関する数理的手法—タイムの予想分布を任意に想定した際の目標体制確率の計算方法—. 順天堂スポーツ科学研究 第3巻第1号 (通巻59号), 9~18, 2011.9.

【学会発表】

高橋友輝, 金子今朝秋, 河村剛光, 青木和浩, 越川一紀,

青野武志. 棒高跳選手における助走の正確性に関する研究. 日本陸上競技学会第10回大会, 24, 2011.12

秋元延大, 佐久間和彦, 青木和浩, 河村剛光, 窪田敦之, 藤田晋平, 金子今朝秋. ハードルジャンプトレーニングが大学男子短距離選手競技者の疾走能力および股関節筋力に及ぼす影響. 日本陸上競技学会第10回大会, 24, 2011.12

青木邦成, 河村剛光, 鹿倉二郎, 佐久間和彦, 越川一紀, 青木和浩, 金子今朝秋. 大学陸上競技選手における試合調整期のコンディション評価に関する研究. 日本陸上競技学会第10回大会, 25, 2011.12

加納 實

【論文】

平行棒における「前振り上がり後方かかえ込み2回宙返り腕支持(ドミトリエンコ)」の技術に関する一考察
木下紘一郎・加納 實・富田洋之・原田睦巳
順天堂スポーツ健康科学研究第2巻第4号: 139-149 (2011.8)

【総説】

体操競技におけるルールと技の発展性について
加納 實・富田洋之
順天堂スポーツ健康科学研究第3巻第1号: 1-8 (2011.9)

【報告】

施設設備の設置に関する基本調査プロジェクト
～近年設置された「体操競技場」の実例調査～
竹田幸夫・加納 實
体操競技・器械運動研究19号: 37-40 (2011.3)

つり輪における「後方かかえ込み2回宙返り2回ひねり下り」の技術に関する研究
荒木雅之・加納 實
順天堂スポーツ健康科学研究第2巻第4号: 167-170 (2011.8)

鉄棒における「バーを越えながら後方かかえ込み2回宙返り懸垂(コバチ)」の技術に関する研究
新島卓矢・加納 實
順天堂スポーツ健康科学研究第2巻第4号: 176-180 (2011.8)

つり輪における「前方屈身2回宙返り(ジョナサン)」の技術に関する研究
坂本功貴・加納 實
順天堂スポーツ健康科学研究第2巻第4号:181-185
(2011.8)

平行棒における「前方開脚5/4宙返り腕支持」の技術に関する研究
小川泰弘・加納 實
順天堂スポーツ健康科学研究第3巻第1号:26-31
(2011.9)

マット運動における「伸膝前転」の指導に関する研究
佐藤友樹・加納 實
順天堂スポーツ健康科学研究第3巻第1号:48-52
(2011.9)

鉄棒における「開脚背面とび越し懸垂(トカチェフ)」の技術に関する研究
小椋慎一・加納 実

ゆか運動における後転とびの技術に関する研究
—後方伸身宙返り5/2ひねりと後方伸身宙返り3回ひねりの比較を通して—
後藤大輔・加納 實

【学会発表】

平均台における「前方宙返り」の技術に関する一考察
鷹野 都・加納 実・小西康仁
日本体操競技・器械運動学会:第25回学会大会(2011.12)

佐久間和彦

【H23学会活動】

1. 大学生スプリンターの股関節周囲筋筋力とスプリント能力の関係
第66回日本体力医学会大会:海峡メッセ下関(山口):9/16-18
2. キネマティクスの変化からみた短距離走の減速要因の検討
第62回日本体育学会大会:鹿屋体育大学:9/25-27
3. 400メートルハードル競走,日本人ハードラーはハー

ドリリングが巧みか?
第62回日本体育学会大会:鹿屋体育大学:9/25-27

4. 大学生スプリンターの股関節周囲筋筋力および大腰筋の横断面積とスプリントパフォーマンスとの関係
第22回日本臨床スポーツ医学会学術集会:青森市文化会館:11/5-6

5. 大学男子短距離競技者における体幹深部筋形態および股関節周囲の筋力との関係
日本陸上競技学会第10回大会:東海大学:12/10-11

6. 陸上競技110mH障害走者のウォーミングアップにおけるストレッチング方法の有効性に関する検討
日本陸上競技学会第10回大会:東海大学:12/10-11

7. 腰痛を有する大学陸上競技者の特性 ~体幹部筋断面積および下肢筋力に着目して~
日本陸上競技学会第10回大会:東海大学:12/10-11

8. ハードルジャンプトレーニングが大学男子短距離競技者の疾走能力および股関節筋力に及ぼす影響
日本陸上競技学会第10回大会:東海大学:12/10-11

9. 大学陸上競技者における試合調整期のコンディション評価に関する研究
日本陸上競技学会第10回大会:東海大学:12/10-11

菅波 盛雄

【報告】

1. 高校柔道大会の外傷実態調査
順天堂スポーツ健康科学研究 第2巻 4号 161-166, 2011
市毛雅之, 桜庭景植, 菅波盛雄, 廣瀬伸良
2. 競技力の違いによる大学生男子柔道選手のストレッチャーと抑うつとの関係
松平憲彦, 廣瀬伸良, 中村 充, 菅波盛雄
順天堂スポーツ健康科学研究 第3巻 1号 64-68, 2011

【雑誌】

アルジェリア, セネガル柔道使節団報告

菅波盛雄

柔道 第82巻 9号 92-96 2011

全日本柔道形競技大会

菅波盛雄

柔道 第82巻 1号 96-106 2011

中島 宣行

【報告】

① 山田 快, 中島宣行「バレーボール選手における競技開始前の状態不安とパフォーマンスの関連について」順天堂スポーツ健康科学研究 3(1)32-36, 2011. 9

② 柳原健志, 中島宣行「バスケットボールのターンオーバーの分析に関する研究」順天堂スポーツ健康科学研究 3(1)58-63, 2011, 9

【学会発表】

① 加藤恭章, 中島宣行「新奇課題におけるイメージトレーニングの効果」日本体育学会第62回大会予稿集, 96, 2011

② 山田 快, 中島宣行, 広沢正孝, 「競技前後におけるバレーボール選手の状態不安とチームパフォーマンスの関連性—競技戦績に着目して」日本体育学会第62回大会予稿集, 104, 2011

③ 川田裕次郎, 那須野歩, 沖 和砂, 田中純夫, 中島宣行, 広沢正孝「体育系大学生における自閉症スペクトラム指数と日常・競技ストレスとの関連」日本体育学会第62回大会予稿集, 107, 2011

④ 高橋麻衣子, 川田裕次郎, 林田章紀, 土屋大志郎, 蛭田秀樹, 仁藤恵理子, 沖 和砂, 中島宣行, 形本静夫, 広沢正孝 日本体育学会第62回大会予稿集, 114, 2011

⑤ 土屋大志郎, 川田裕次郎, 高橋麻衣子, 林田章紀, 蛭田秀樹, 仁藤恵理子, 那須野歩, 中島宣行, 形本静夫, 広沢正孝 日本体育学会第62回大会予稿集, 115, 2011

⑥ 伊藤浩人, 沖田麻依, 古城梨早, 中島宣行「大学アスリートにおける集団特性とストレスの関係」日本ウエルネス学会第8回大会, 10月2日, 横浜市, 2011

【講演】

中島宣行「トップアスリートの心理的世界」平成23年度長野県健康スポーツ医学再研修会, 12月10日, 長野市, 2011

濱野 光之

【学術論文】

バレーボール部における創意工夫練習・独自の評価票を用いた選手選抜法と統計学的解析

バレーボール研究 投稿中

【講師等】

平成23年度埼玉県春日部市レクリエーション協会 リーダー研修会講師

演題 スポーツ・レクリエーション活動における指導者の資質向上（リーダーシップ）や養成策について

平成23年11月

先任准教授

青木 和浩

【学術論文】

高橋友輝, 河村剛光, 青木和浩, 原田陸巳, 冨田洋之, 金子今朝秋. 棒高跳選手の競技力に関する体操競技の技の習得度. 陸上競技研究 86, 18~25, 2011.9

中山 東, 高梨雄太, 青木和浩, 柳谷登志雄, 金子今朝秋. 踏み台からの落下を利用したグライド動作トレーニングが砲丸投のパフォーマンスに及ぼす影響. 陸上競技研究 86, 34~41, 2011.9

【報告】

青木和浩. 第16回アジア競技大会, 陸上競技報告. 第16回アジア大会 (2010/廣州) 日本選手団報告書, 293~294, 2011.3

青木和浩, 廣瀬伸良, 他6名. 2010年度順天堂大学体格体力累加測定. 順天堂大学スポーツ健康科学研究 2, supplement, 23~32, 2011.3

青木和浩. 第19回アジア陸上選手権大会報告. 陸上競技研究 86, 51~55, 2011.9

青木和浩. スポーツ現場から社会へ—スポーツの理論を健康づくりへ—. 順天堂医学 57(5), 456~461, 2011.10

【学会発表】

Y. Kohmura, K. Aoki. Gender Differences in Saccadic Eye

Movement Among Students at a Sports University. The Inaugural Academy of Sportology, 23, 2011.3

河村剛光, 村上茂樹, 青木和浩, 高橋友輝, 青野武志. 機能カラーレンズの使用と中高年の視機能. 第16回スポーツビジョン研究集会, 2011.8

鯉川なつえ, 青木和浩, 仲村明, 鈴木良雄, 長岡 功, 矢澤一良, 植田文教, 澤木啓祐. 抗酸化サプリメント「オキシバリア」の摂取が長距離ランナーの競技力向上に及ぼす影響. 日本陸上競技学会第10回大会, 20, 2011.12

高橋友輝, 金子今朝秋, 河村剛光, 青木和浩, 越川一紀, 青野武志. 棒高跳選手における助走の正確性に関する研究. 日本陸上競技学会第10回大会, 24, 2011.12

秋元延大, 佐久間和彦, 青木和浩, 河村剛光, 窪田敦之, 藤田晋平, 金子今朝秋. ハードルジャンプトレーニングが大学男子短距離選手競技者の疾走能力および股関節筋力に及ぼす影響. 日本陸上競技学会第10回大会, 24, 2011.12

青木邦成, 河村剛光, 鹿倉二郎, 佐久間和彦, 越川一紀, 青木和浩, 金子今朝秋. 大学陸上競技選手における試合調整期のコンディション評価に関する研究. 日本陸上競技学会第10回大会, 25, 2011.12

今関 豊一

【学会発表】

1) 日本体育学会第62回大会 (鹿屋体育大学) 「体育科学習指導要領における学習内容の概念的成立の検討」, 副題として, 「一今次改訂の学習指導要領を中心に一」

【講師等】

1) 第61回全国学校保健研究大会 (静岡) 文部科学省主催 2011/10/28 第1課題 (学校経営と組織活動) 講師「学校における組織活動を生き生きと」

【著書】

1) 評価規準の作成, 評価方法等の工夫改善のための参考資料【中学校 保健体育】教育出版 2011/11

【専門誌・報告書等】

1) 保健体育科 (保健分野): 思考・判断がはたらく授業

づくりを どうする新教育課程の評価・指導要録 週間教育資料 NO. 1185 p32-22 2011/11

鯉川なつえ

【学会発表】

女子長距離ランナーのコーチング: 鯉川なつえ, コーチング学研究24(2): 95-97, 2011. 3

抗酸化サプリメント「オキシバリア」の摂取が長距離ランナーの競技力向上に及ぼす効果: 鯉川なつえ, 青木和浩, 仲村 明, 鈴木良雄, 長岡 功, 矢澤一良, 植田文教, 澤木啓祐, 日本陸上競技学会第10回大会, 20, 2011. 12

越川 一紀

【学会発表】

高橋友輝, 金子今朝秋, 河村剛光, 青木和浩, 越川一紀, 青野武志. 棒高跳選手における助走の正確性に関する研究. 日本陸上競技学会第10回大会, 24, 2011.12

青木邦成, 河村剛光, 鹿倉二郎, 佐久間和彦, 越川一紀, 青木和浩, 金子今朝秋. 大学陸上競技選手における試合調整期のコンディション評価に関する研究. 日本陸上競技学会第10回大会, 25, 2011.12

鈴木 大地

【原著論文】

1. Epidemiological Feature of Colorectal Cancer in Japan Masashi MATSUZAKA, Takashi UMEDA, Tetsu ENDO, Yoshimsa SUDA, Takanobu IWAMA, Kiyotake WATANABE, Toshiki OKUMURA, Daichi SUZUKI, Eiki TSUSHIMA, Takako KUMAGAI, Daisuke CHINDA, Takuhiko KATO
Journal of Physical Fitness, Nutrition and Immunology: pp67-74 VOL. 21 NO. 2, 2011

【発表・シンポジウム】

1. オープンウォータースイミングについて 2011/1/15 (財) 日本水泳連盟公認水泳コーチ研修会
2. 大学男子水泳競技者の筋力および筋横断面積に, 血流量制限下で行う他動的運動が及ぼす影響 窪田敦之, 桜庭景植, 小倉裕司, 藤田真平, 鈴木大地, 洪 定男 2011

年11月6日 日本臨床スポーツ医学会誌 Vol. 19 No. 4, 2011

3. 「箱根, そして世界の頂点へ」2011年11月12日箱根駅伝シンポジウム
4. 「スポーツの楽しみ方～する・観る・支える～」2011年11月19日長野県体育指導委員協議会
5. スポーツと国際協力2011年12月3日独立行政法人国立国際医療研究センター国際医療協力部創立25周年記念セミナー

中村 恭子

【編著書】

明日からトライ! ダンスの授業 中村恭子・宮元乙女・中村なおみ 他, 全国ダンス・表現運動授業研究会編, 大修館書店, 東京, 分担著, 2011. 9

【報告書】

精神科デイケア通所の統合失調症患者を対象としたダンスア・クティビティの試み(5)～他のスポーツ・プログラムとの比較～ 中村恭子・広沢正孝・岩崎 香・鈴木利人 他 4名, 病院・地域精神医学54-2, pp80-82, 2011. 11

中学校ダンス男女必修化に関する調査(3)報告書 中村恭子, 順天堂大学ダンス授業研究会編, 2011. 10

【学会発表】

教員養成課程におけるダンスの学習内容・目標評価と種目採択意欲の関係」 中村恭子, 日本体育学会第62回大会, (鹿児島) 2011. 8

精神科リハビリテーションにおけるスポーツ活動の有効性の検討—生理的ストレス指標の活用の試み— 中村恭子・廣澤正孝・細見 修・山倉文幸・鈴木利人・輪島留美子・木内瑞絵・田中那奈, 第54回日本病院・地域精神医学会総会(沖縄)抄録集, p148, 2011. 11

【専門誌】

指導に役立つ情報 動機づけ～オリエンテーションで目標を持たせよう～ 中村恭子, 『女子体育』53-8・9, p4, 2011. 8

中村 充

【学会発表】

1. 剣道団体試合における選手配置に関する研究(1) 井上哲朗, 岩切公治, 中村 充
武道学研究 第44巻別冊, 99, 2011.
2. 剣道団体試合における選手配置に関する研究(2) 岩切公治, 中村 充, 廣瀬伸良, 井上哲朗
武道学研究 第44巻別冊, 100, 2011.

廣瀬 伸良

【著書】

1. 皮膚真菌症を究める
Trichophyton tonsurans 感染症の集団検診の現状 担当執筆
廣瀬伸良
皮膚科臨床アセット第4巻, p130-135, 2011.
中山書店

【原著論文】

1. 剣道団体試合の戦力評価に関する研究—AHP を利用した配置別評価を利用して—
岩切公治, 中村 充, 廣瀬伸良, 廣津信義
身体運動文化学会第16巻1号 p37-46, 2011.

【報告】

1. 高校柔道大会の外傷実態調査
市毛雅之, 桜庭景殖, 菅波盛雄, 廣瀬伸良
順天堂スポーツ健康科学研究第2巻第4号161-166, 2011.
2. 競技力の違いによる大学男子柔道選手のストレスと抑うつとの関係
松平憲彦, 廣瀬伸良, 中村 充, 菅波盛雄
順天堂スポーツ健康科学研究第3巻第1号 p64-68, 2011.

【専門雑誌】

1. トングランス感染症を撲滅しよう! —正しく理解して予防・治療—
廣瀬伸良
近代柔道第33巻第2号 p62-63, 2011.

【学会発表】

1. 学校柔道に適応可能なカリキュラムの試み—K 大学における基礎柔道指導法を通して—
宮腰浩一, 石井兼輔, 越野忠則, 井下桂織, 廣瀬伸良
武道学研究第44巻別冊 p46, 2011.
2. 剣道団体試合における選手配置に関する研究(2)
岩切公治, 中村 充, 廣瀬伸良, 井上哲朗
武道学研究第44巻別冊 p100. 2011
3. 人工芝と天然芝上で行うターン動作における足底圧の相違
—第5中足骨疲労骨折との関連を中心に—
福土徳文, 桜庭景植, 柳谷登志雄, 廣瀬伸良, 吉村雅文, 青葉幸洋
日本臨床スポーツ医学会誌第19巻4号 p172, 2011.
4. **Efforts towards and results of prevention of Trichophyton tonsurans infection by the University Judo Federation of Tokyo**
Masahiro Tamura, Morio Suganami, Naoya Maekawa, Nobuyoshi Hirose
International Judo Symposium-Medical and Scientific Aspect - pp9: 2011.

吉村 雅文

【原著】

1. MASAFUMI YOSHIMURA, YOSHIHIRO AOBA, KIYO-HITO NAITO, TAIJI WATARI, SAYA MURAKAMI, KAORI YOSHIMURA, TAKESHI NAKAGAWA, TETSURO YAMAMOTO, HIDEYO YAMAGUCHI, ISAO NAGAOKA
Effect of a chicken comb extract-containing supplement on subclinical joint pain in collegiate soccer players
EXPERIMENTAL AND THERAPEUTIC MEDICINE 3, 457-462, Accepted December9, 2011

【資料】

【学会発表】

1. 廣津信義, 青葉幸洋, 福土徳文, 吉村雅文. 経営効率分析

法 (DEA) を利用した J リーグ選手の特徴評価 日本体育学会62回大会

2. 齊藤 芳, 吉村雅文. パスタイムとパスの回数が南アフリカワールドカップにおける予選通過に及ぼす影響 7th World Congress on Science & Football 2011

准教授

葛宗 浩二

【専門誌】

- ◇CPV Coaching & Playing Volleyball 73号 P8~12
(バレーボール・アンリミテッド社発行/2011年3/4月号)
『バレーボールチームのミーティング』
- ◇熱中! バレー部 P44~47
(ベースボールマガジン社発行/2011年9月14日発売)
『ぐんぐんうまくなる練習法 特別編 葛宗塾』
- ◇CPV Coaching & Playing Volleyball 76号 P12
(バレーボール・アンリミテッド社発行/2011年9/10月号)
『壁面写真を使った練習環境の工夫』
- ◇熱中! バレー部 P42~47
(ベースボールマガジン社発行/2011年11月14日発売)
『ぐんぐんうまくなる練習法 特別編 その2 葛宗塾』

- ◇中学 野球小僧 P74~P79 P90~P93
(白夜書房発行/2012年1月号)
『中学球児巨大化計画』

【講習会講演】

- 葛宗浩二: 『スポーツと人間教育』, 神奈川県立荏田高等学校 体育コース講演, 4月28日, 2010
- 葛宗浩二: 『部活動運営について』, 神奈川県教育委員会, 神奈川県教育センター, 5月12日, 2010
- 葛宗浩二: 『整体器と腰痛について』, スポーツ障害研究会, 東京会館, 7月13日, 2010

葛宗浩二: 『トレーニングと怪我の予防』, 順天堂大学医学部スポーツフォーラム, 国際ファッションセンター, 7月

24日, 2010

葛宗浩二:『バレーボール講習会』, 順天堂大学バレーボール館, 40名程参加, 8月1日~3日, 2010

葛宗浩二:『トレーニング講習会』, 順天堂大学バレーボール館, 20名程参加, 8月5日~7日, 2010

葛宗浩二:『組織経営について』, 組織経営講習会, 東京プリンス, 9月6日, 2010

【地域スポーツ研究活動等】

葛宗浩二:『楽しいバレーボール教室』, 順天堂大学バレーボール館・第二体育館, 幼稚園生30名・小学生70名・大人50名, 毎週火曜日19:00~20:30

葛宗浩二:『順大バレーボール大会』, 2011年1月 順天堂大学, 学生750名程参加

中嶽 誠

【研究】

「授業規律の確立による, 教師の授業力及び生徒の学習意欲向上に関する研究」

千葉県教育委員会 学校体育研究指定 (千葉県立成田国際高等学校体育科)

2011年3月 研究状況報告 平本武男 田口富一 中嶽誠 他

仲村 明

【論文】

男子学生中長距離選手の中学校・高等学校期のトレーニングに関する研究: 高嶋 哲・山本正彦・河合祥雄・仲村明・澤木啓祐・上田誠仁, ランニング学研究 V22(2), p23~30 (2011. 3)

リレー競技者の走者の選定に関する数理的手法—タイムの予想分布を任意に想定した際の目標達成確立の計算方法—: 廣津信義・仲村 明・金子今朝秋, 順天堂スポーツ健康科学研究第3巻第1号(59), p9~18 (2011. 9)

原田 睦巳

【論文】

採点規則の改定に伴うあん馬の演技構成に関する一考察

鹿島丈博・佐藤真太郎・原田睦巳

大東文化大学紀要, 自然科学第49号, 17-39, (2011.3)

平行棒における「前振り上がり後方かかえ込み2回宙返り腕支持(ドミトリエンコ)の技術に関する一考察

木下紘一郎・加納 實・富田洋之・原田睦巳

順天堂スポーツ健康科学研究第2巻第4号, 139-149, (2011.8)

棒高跳選手の競技力に関する体操競技の技の習得度

高橋友輝・河村剛光・青木和浩・原田睦巳・富田洋之・金子今朝秋

陸上競技研究第86号 (2011. No. 3), 18-25, (2011.8)

助教

窪田 敦之

【著書】

窪田敦之; ここが聞きたい! スポーツ診療 Q&A. 桜庭景植編集, 全日本病院出版会, 分担執筆; 3. 関節弛緩性, 柔軟性, 13-18, 2011

【論文】

Kubota A, Sakuraba K, Koh S, Ogura Y, Tamura Y. Blood flow restriction by low compressive force prevents disuse muscular weakness. J Sci Med Sport. 14(2): 95-99, 2011

熊崎敏真, 桜庭景植, 廣津信義, 吉村雅文, 窪田敦之, 丸山麻子, 坂井建雄. 日本フットサルリーグ所属の選手に対するアンケート調査—2007年開幕1年目の傷害および環境・意識要因に注目して—. 日本臨床スポーツ医学会誌. 19(1): 10-19, 2011

【国外学会発表】

Kubota A, Sakuraba K, Kato H, Ogura Y, Koh S. Passive Exercise with Blood Flow Restriction Increases Cross-sectional Area and Strength in Thigh Muscles. The 16th Annual Congress of European College of Sport Science. 2011. 7

【国内学会発表】

門屋悠香, 桜庭景植, 石川拓次, 丸山麻子, 窪田敦之, 島寿子, 山本真徳. 足関節不安定性と足関節捻挫再受傷の関係. 第3回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会. 2011. 6

藤田真平, 桜庭景植, 佐久間和彦, 窪田敦之. 大学生スプリンターの股関節周囲筋力とスプリント能力の関係. 第66回日本体力医学会大会. 2011. 9

窪田敦之, 桜庭景植, 小倉裕司, 藤田真平, 鈴木大地, 洪定男. 大学男子水泳競技者の筋力および筋横断面積に, 血流制限下で行う他動的運動が及ぼす影響. 第22回日本臨床スポーツ医学会学術集会. 2011. 11

藤田真平, 桜庭景植, 佐久間和彦, 窪田敦之. 大学生スプリンターの股関節周囲筋力および大腰筋の横断面積とスプリントパフォーマンスとの関係. 第22回日本臨床スポーツ医学会学術集会. 2011. 11

小西 康仁 (体操競技)

【論文】

平均台における「前方宙返り」の技術に関する一考察

鷹野 都・加納 実・小西康仁

日本体操競技・器械運動学会 第25回大会 一般研究発表 (2011. 12)

佐賀 典生

【報告書・論文等】

河合祥雄, 佐賀典生. 浸水, 潜水に見られる肺水腫, 日本高気圧環境・潜水医学会関東地方会誌11: 35-37 (2011)

佐賀典生, 内藤久土, 形本静夫. 「温熱処置と伸張性運動を組み合わせたトレーニングが筋痛・筋損傷に及ぼす影響」デサントスポーツ科学 vol. 33. (2012) 発行予定

【学会発表】

Saga N, Kobayashi H, Naito H, Katamoto S. Effect of dynamic balance raining using the caster boards on postural control in female university students. Inaugural international Academy of Sportology. 206-211 (2011), 平成23年3月

佐賀典生, 内藤久土, 形本静夫, 河合祥雄. サイクリング愛好者の ACTN3 遺伝子型に関する研究. 第19回日本運動生理学会大会, 徳島, 平成23年8月.

佐賀典生, 内藤久土, 河合祥雄, 形本静夫. 遅発性筋痛時の温熱処置が筋損傷・筋痛に及ぼす影響. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 平成23年9月, 体力科学60(6): 756 (2011)

河合祥雄, 加藤清子, 佐賀典生, 染谷由希, 重野利彰, 松下裕里. S 県の海水浴場における水辺事故発生率と海浜環境との関連. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 平成23年9月, 体力科学60(6): 845 (2011)

重野利彰, 河合祥雄, 佐賀典生, 染谷由希, 松下裕里, 加藤卓郎, 千田夏騎. 布製拮抗筋利用器具を用いた変形性膝関節症に対する運動療法効果. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 平成23年9月, 体力科学60(6): 880 (2011)

山本正彦, 河合祥雄, 佐賀典生, 染谷由希, 重野利彰, 松下裕里. 近赤外線分光法を用いた自転車エルゴメーター負荷漸増中における呼吸補助筋の動員について. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 平成23年9月, 体力科学60(6): 643 (2011)

村出真一郎, 佐賀典生, 形本静夫, 内藤久土. フリーローラー走行による一般サイクリストの至適ケイデンスの検討. 第66回日本体力医学会大会, 山口, 平成23年9月, 体力科学60(6): 647 (2011)

高瀬 武志

【学会発表】

1, 「武士道思想における死生観に関する一考察—『五輪書』『兵法家伝書』を中心に—」

発表者: 高瀬武志

第44回日本武道学会, 国際武道大学, 2011年9月1日

高橋 祐太

報告事項なし

長門 俊介

報告事項なし

福士 徳文

【報告】

ロングパイル人工芝の評価に関する研究

福士徳文, 吉村雅文

順天堂スポーツ健康科学研究 3巻1号, 37-41, (2011)

【学会発表】

人工芝と天然芝上で行うターン動作における足底圧の相違
～第5中足骨疲労骨折との関連を中心に～

福士徳文, 桜庭景植, 柳谷登志雄, 廣瀬伸良, 吉村雅文,
青葉幸洋

第22回日本臨床スポーツ医学会学術集会 (青森), 2011年
11月

経営効率分析法 (DEA) を利用したJリーグ選手の特徴
の評価

廣津信義, 青葉幸洋, 福士徳文, 吉村雅文

日本体育学会第62回大会 (鹿児島), 2011年9月

日本人プロサッカー選手のキャリアプロセスに関する縦断
的研究—Ten Years After Project—

上代圭子, 野川春夫, 青葉幸洋, 福士徳文

日本体育学会第62回大会 (鹿児島), 2011年9月

助手

青葉 幸洋

【原著】

大学サッカー選手への三角形イメージ体験法の応用に関する
基礎的研究—三角形イメージの出現形態の変化に着目し
て—

防衛大学紀要 (社会科学分冊), 第102輯: 9-19 (2011. 3)
小塚昭仁・八尾則和・長谷川望・飯島正博・青葉幸洋・吉
井秀邦・吉村雅文

Assessment of Soccer Referee Performance during Games

Football Science, Vol. 8: 8-15 (2011)

Yukihiro Aoba・Masafumi Yoshimura・Takayuki Miyamori・Shigeo Suzuki

【学会発表】

INFLUENCE OF DIFFERENT TYPES OF SOCCER SHOES ON FOOT PRESSURE ON ARTIFICIAL TURF

16th International WCPT Congress (2011. 6)

Aoba Y., Yoshimura M., Miyamori T.

経営効率分析法 (DEA) を利用したJリーグ選手の特徴
の評価

日本体育学会 第62回大会 (2011. 6)

廣津信義・青葉幸洋・福士徳文・吉村雅文

日本人プロサッカー選手のキャリアプロセスに関する研究
10 years after model

日本体育学会 第62回大会 (2011. 6)

上代圭子・野川春夫・青葉幸洋・福士徳文

人工芝と天然芝で行うターン動作における足底圧の相違—
第5中足骨疲労骨折との関連を中心に—

第22回 日本臨床スポーツ医学会 (2011. 11)

福士徳文・桜庭景植・柳谷登志雄・廣瀬伸良・吉村雅文・
青葉幸洋

富田 洋之 (体操競技)

【総説】

体操競技におけるルールと技の発展性について

加納 實・富田洋之

順天堂スポーツ健康科学研究第3巻第1号, 1-8,
(2011. 09)

【論文】

棒高跳び選手の競技力に関する体操競技の技の習得度

高橋友輝・河村剛光・青木和浩・原田睦巳・富田洋之・
金子今朝秋

陸上競技研究第86号18-25 (2011. 08)

平行棒における「前振り上がり後方かかえ込み2回宙返り
腕支持 (ドミトリエンコ)」の技術に関する一考察

木下紘一郎・加納 實・富田洋之

順天堂スポーツ健康科学研究第2巻第4号, 457-471,
(2011. 08)

〔マネジメント学科〕

教授

小笠原悦子

【論文】

Kwon, H. H., Pyun, D. Y., Han, S., & Ogasawara, E. (2011). Testing for factorial invariance of the modified leadership scale for sports. *Asia Pacific Journal of Education*, 31(1), 65-76.

吉田政幸・小笠原悦子 (2011) プロスポーツチームの上位リーグへの昇格が地元住民に及ぼす心理的影響 ―Jリーグディビジョン2に昇格したプロサッカーチームに着目して―. *びわこ成蹊スポーツ大学研究紀要*, 8, 67-78.

【著書】

小笠原悦子 (2011) *なでしこジャパンの活躍と日本の女性スポーツ*. 女性展望, 641, 16.

小笠原悦子 (2011) *スポーツ組織に女性の積極的な進出を*. 体育科教育, 59(12), 18-21.

小笠原悦子 (2011) *世界の中の日本*. *びわこ成蹊スポーツ大学研究紀要*, 8, 159.

【学会発表】

Ogasawara, E. (2011) *International Collaboration Network on Women and Sport*. Keynote speech at the 7th Asian Association for Sport Management Conference (Ulaanbaatar, Mongolia, July 9th, 2011).

Ogasawara, E., Yoshida, M. & Bravo, G. (2011) *Examining Psychological Contract Among Japanese Coaches*. Oral Presentation at the 19th Conference of the European Association for Sport Management (Madrid, Spain, September 9th, 2011) *Book of Abstracts*, 87-88.

佐藤 馨・小笠原悦子 (2011) *障害者スポーツにおける女性のスポーツ環境に関する研究 ―特に女性特有の問題に着目して―*. 第62回日本体育学会予稿集, p. 86.

北村 薫

【原著論文】

① Ito, E, Nogawa, H, Kitamura, K, Gordon J. W.. The Role of Leisure in the Assimilation of Brazilian Immigrants into Japanese Society: Acculturation and Structural Assimilation through Judo Participation. *International Journal of Sport and Health Science* 9: 8-14, 2011. 4

【著書】

① 明星智美, 北村 薫. *社会理論と社会システム*. 社会福祉士・精神保健福祉士受験ワークブック編集委員会編, *社会福祉士・精神保健福祉士受験ワークブック 2012 (共通科目編)*. 111-158 (内容点検), 東京, 中央法規出版, 2011. 7

【その他】

① 形本静夫, 吉原利典, 野川春夫, 北村 薫, 澤田亨. サイクリストの運動実施状況に関するアンケート調査. 『平成22年度「自転車による健康増進のための自然科学的研究」報告書』. 28-34, 東京, 財団法人日本自転車普及協会, 2011. 3

【学会発表】

① 芳地泰幸, 中山貴太, 水野基樹, 北村 薫. チームビルディングの実践とその効果の検討―大学生スポーツチームを対象に―. *人類働態学会会報* 94: 57-60, 2011. 6

② 依田充代, 北村 薫, 澤野 宏. *子どもの薬とサプリメントの研究*. *日本スポーツ産業学会第20回大会号*: 67-68, 東京, 2011. 7

③ 大沼博靖, 北村 薫. *ICTを活用した健康運動ファシリテータの育成について*. *日本スポーツ産業学会第20回大会号*: 81-82, 東京, 2011. 7

④ 松本眞一, 鈴木知幸, 野川春夫, 北村 薫. *東日本大震災に公共スポーツ施設の管理者はどう対応したか―関東圏を中心とした現況把握―*. *日本スポーツ産業学会第20回大会号*: 85-86, 東京, 2011. 7

⑤ 松川勇樹, 北村 薫. *東日本大震災がスポーツに対して与えた影響に関する研究*. *日本スポーツ産業学会第20回大会号*: 106-107, 東京, 2011. 7

⑥ 芳地泰幸, 水野基樹, 中山貴太, 北村 薫. *大学生スポーツチームにおける集団効力感と文脈的パフォーマンスの関連*. *産業・組織心理学会第27回大会発表論文*

集：151-154, 福岡, 2011. 9

- ⑦ 芳地泰幸, 中山貴太, 水野基樹, 北村 薫. チームビルディングの実践とチーム活性化に関する研究—大学生野球部を事例に—. 日本体育学会第62回大会予稿集：103, 鹿児島, 2011. 9

須藤 路子 (英語学)

【学会誌】

Sudo, Michiko Mochizuki and Kaneko, Ikuyo (2011). Is There a “Critical Period” in Acquisition of English by Japanese Learners? *Jacet Journal* (The Japan Association of College English Teachers), 54, in press.

【学会発表講演論文】

1. 須藤路子・金子育世 (2011) 帰国子女と日本人一般大学生による英語のリズム生成パターンと TOEIC スコアにおける要因分析『日本音響学会講演論文集』417-418.
2. 金子育世・須藤路子 (2011) 海外滞在開始年齢と滞在期間要因が日本人学習者の英語習得に与える影響—リズム生成パターンと TOEIC スコアの観点から—『第25日本音声学会全国大会予稿集』85-90.
3. 伊藤憲治・須藤路子・望月明人・桐野衛二 (2011) 空間認知・記憶と社会コミュニケーション・運動機能連関システムの解析『電子情報通信学会基礎・境界講演論文集』197.
4. Sudo, M. M., Mochizuki, A. A., Itoh, K., & Kirino, E. (2011). Effects of Physical Performance and Language Proficiency on Brain Activation: from a Social Cognition Viewpoint. *Inaugural International Academy of Sportology*, 36-40.
5. 望月明人・伊藤憲治・桐野衛二・須藤路子 (2011) 身体運動と社会コミュニケーションの連関システム解析—脳内活性分析—『体力科学』60巻6号, in press.

野川 春夫

【著書】

1. 井上 俊・菊 幸一 編著「スポーツ文化論」2011年担当：『スポーツ・ツーリズム』pp. 36-37.

【論文】

1. Eiji Ito, Haruo Nogawa, Kaoru Kitamura, and Gordon

K. Walker: “The Role of Leisure in the Assimilation of Brazilian Immigrants into Japanese Society: Acculturation and Structural Assimilation through Judo Participation”

International Journal of Sport and Health Science, Vol. 9, pp. 8-14, 2011.

2. 山口志郎・佐々木朋子・山口泰雄・野川春夫：「マラソンランナーの参加動機と Push-Pull 要因に関する研究—NAHA マラソンにおける県内・県外参加者に着目して—」
神戸大学大学院人間発達環境学研究科研究紀要, Vol. 4, No. 2, pp. 57-67. 2011年
3. Takahashi Toshie, Watanabe Yasuhiro, Ota Ayako, Nogawa Haruo.
“Determinants to Create Customer Satisfaction at Public Sport Facilities in Japan”
Inaugural International Academy of Sportology, p. 126, 2011
4. Tomei Yumi, Nogawa Haruo, Takahashi Toshie, Jodai Keiko, Watanabe Yasuhiro, Funaki Yasuyo. “Japanese male adults’ gender egalitarian attitude in the sports world”
Inaugural International Academy of Sportology, pp. 127-131, 2011
5. Okayasu Isao, Watanabe Yasuhiro, Ito Eiji, Nogawa Haruo. “Inbound leisure and sport tourism to Japan”
Inaugural International Academy of Sportology, pp.132-137, 2011
6. Nogawa Haruo, Sasaki Tomoko. “International comparison of Sport for All promotion campaigns”
Inaugural International Academy of Sportology, pp. 138-143, 2011
7. Yasumitsu Tatsuo, Nogawa Haruo. “Effects of the short-time coordination exercise program during the recess period on agility of elementary school students”
Inaugural International Academy of Sportology, pp. 144-149, 2011
8. Jodai Keiko, Nogawa Haruo, Aoba Yukihiko, Fukushi Norifumi. “Career transition of Japanese professional football players: A longitudinal study of 10 years”
Inaugural International Academy of Sportology, pp. 150-155, 2011
9. Watanabe Yasuhiro, Nogawa Haruo, Matsumoto Koji. “Market segmentation of professional golf tournament

in Japan: an analysis of professional golf spectators”
Inaugural International Academy of Sportology, pp.
156-157, 2011

10. 野川春夫・佐々木朋子・舟木泰世・佐藤由夫「スポーツ振興（健常者・障害者）の一元化推進策に関する国際比較研究」第62回日本体育学会，体育社会学専門分科会，発表論文集，第19号，pp. 66-71.
11. 渡辺泰弘・高橋季絵・舟木泰世・野川春夫・高橋季絵・舟木泰世・野川春夫「青少年スポーツ振興に関する国際比較研究」第62回日本体育学会，体育社会学専門分科会，発表論文集，第19号，pp. 60-65
12. 上代圭子・野川春夫・青葉幸洋・福徳文「日本人プロサッカー選手のキャリアプロセスに関する縦断的研究—Ten Years After Project—」第62回日本体育学会，体育社会学専門分科会，発表論文集，第19号，pp. 7-12.

【その他】

1. 「地域活性化をもたらすスポーツ施策—スポーツ力を地域力に」（特集 スポーツによる地域活性化）
単著 月刊自治フォーラム，616号，pp. 5-7, 2011年1月
2. 「指定管理者時代の公共スポーツ施設経営」第11回
単著 月刊体育施設，1月号，pp. 24-25, 2011年1月
3. 「指定管理者時代の公共スポーツ施設経営」第12回
単著 月刊体育施設，3月号，pp. 34-35, 2011年3月
4. 「指定管理者時代の公共スポーツ施設経営」第13回
単著 月刊体育施設，5月号，pp. 40-41, 2011年5月
5. 「指定管理者時代の公共スポーツ施設経営」第14回
単著 月刊体育施設，7月号，pp. 42-43, 2011年7月
6. 「指定管理者時代の公共スポーツ施設経営」第15回
単著 月刊体育施設，9月号，pp. 32-33, 2011年9月
7. 「指定管理者時代の公共スポーツ施設経営」第16回
単著 月刊体育施設，11月号，pp. 18-19, 2011年11月

【学会発表】

1. 「スポーツ施設における女性会員のクレームに関する研究～民間フィットネスクラブに着目して」
発表者：浅賀めぐみ・高橋季絵・渡辺泰弘・野川春夫
第54回未来性大の研究発表会（社団法人日本女子体育連盟），国立オリンピック記念青少年総合センター，2011年2月11日
2. 「指定管理者制度導入施設の事業と住民評価～鹿島ウ

エルネスプラザに着目して～」

- 発表者：及川結花・高橋季絵・渡辺泰弘・野川春夫
第54回未来性大の研究発表会（社団法人日本女子体育連盟），国立オリンピック記念青少年総合センター，2011年2月11日
3. 「学校運動部活動における大部防止策に関する研究～中学校の顧問教諭を対象として～」
発表者：近藤雄一・高橋季絵・渡辺泰弘・野川春夫
第54回未来性大の研究発表会（社団法人日本女子体育連盟），国立オリンピック記念青少年総合センター，2011年2月11日
4. 「プロスポーツにおけるスポンサーに関する研究～バスケットボールを中心として～」
発表者：櫻庭暢子・高橋季絵・渡辺泰弘・野川春夫
第54回未来性大の研究発表会（社団法人日本女子体育連盟），国立オリンピック記念青少年総合センター，2011年2月11日
5. 「知的障害者の運動・スポーツに関する研究」
発表者：宮下かなえ・高橋季絵・渡辺泰弘・野川春夫
第54回未来性大の研究発表会（社団法人日本女子体育連盟），国立オリンピック記念青少年総合センター，2011年2月11日
6. Takahashi Toshie, Watanabe Yasuhiro, Ota Ayako, Nogawa Haruo.
“Determinants to Create Customer Satisfaction at Public Sport Facilities in Japan”
Inaugural International Academy of Sportology, March 5, 2011, Juntendo University, Tokyo, Japan
7. Tomei Yumi, Nogawa Haruo, Takahashi Toshie, Jodai Keiko, Watanabe Yasuhiro, Funaki Yasuyo. “Japanese male adults’ gender egalitarian attitude in the sports world”
Inaugural International Academy of Sportology, March 5, 2011, Juntendo University, Tokyo, Japan
8. Okayasu Isao, Watanabe Yasuhiro, Ito Eiji, Nogawa Haruo. “Inbound leisure and sport tourism to Japan”
Inaugural International Academy of Sportology, March 5, 2011, Juntendo University, Tokyo, Japan
9. Nogawa Haruo, Sasaki Tomoko. “International comparison of Sport for All promotion campaigns”
I Inaugural International Academy of Sportology, March 5, 2011, Juntendo University, Tokyo, Japan
10. Yasumitsu Tatsuo, Nogawa Haruo. “Effects of the

- short-time coordination exercise program during the recess period on agility of elementary school students”
Inaugural International Academy of Sportology, March 5, 2011, Juntendo University, Tokyo, Japan
11. Jodai Keiko, Nogawa Haruo, Aoba Yukihiro, Fukushi Norifumi. “Career transition of Japanese professional football players: A longitudinal study of 10 years”
Inaugural International Academy of Sportology, March 5, 2011, Juntendo University, Tokyo, Japan
 12. Watanabe Yasuhiro, Nogawa Haruo, Matsumoto Koji. “Market segmentation of professional golf tournament in Japan: an analysis of professional golf spectators”
Inaugural International Academy of Sportology, March 5, 2011, Juntendo University, Tokyo, Japan
 13. 「スポーツイベントにおけるパーソナリティ・フィットに関する研究：ブランドとイベントの評価およびマーケティング戦略」
発表者：山口志郎・山口泰雄・野川春夫
兵庫体育・スポーツ科学学会，播磨町健康生き生きセンター，2011年5月21日
 14. 「東日本大震災に公共スポーツ施設の管理者はどう対応したか—関東圏を中心とした現況把握—」
発表者：松本眞一・鈴木知幸・野川春夫・北村 薫
第20回日本スポーツ産業学会，東京工業大学，2011年7月16日
 15. 「日本国内におけるマラソンイベントの現状」
発表者：上代圭子・佐々木朋子・野川春夫
イベント学会第14回研究大会，国際ファッションセンター，2011年9月8日
 16. 「震災後の生活時間とスポーツ活動の変化について～サッカーおじさんを対象として～」
発表者：山本早希子・平林久周・欠端真梨奈・杉山友里子・戸塚理央・橋田あかり・舟木泰世・高橋季絵・野川春夫
イベント学会第14回研究大会，国際ファッションセンター，2011年9月8日
 17. 「スポーツ振興（健常者・障害者）の一元化推進策に関する国際比較研究」
発表者：野川春夫・佐々木朋子・舟木泰世・佐藤由夫
第62回日本体育学会，鹿屋体育大学，2011年9月25日
 18. 「青少年スポーツ振興に関する国際比較研究」
発表者：渡辺泰弘・高橋季絵・舟木泰世・野川春夫
第62回日本体育学会，鹿屋体育大学，2011年9月25日
 19. 「日本人プロサッカー選手のキャリアプロセスに関する縦断的研究—Ten Years After Project—」
発表者：上代圭子・野川春夫・青葉幸洋・福土徳文
第62回日本体育学会，鹿屋体育大学，2011年9月25日
 20. 「総合型地域スポーツクラブの設立効果に関する研究—クラブ会員のソーシャルキャピタルに着目して—」
発表者：舟木泰世・渡辺泰弘・高橋季絵・野川春夫
第62回日本体育学会，鹿屋体育大学，2011年9月27日
 21. 「サッカー協会のジェンダー構成と管理部門への女性登用施策に関する日米比較研究」
発表者：東明有美・野川春夫
第62回日本体育学会，鹿屋体育大学，2011年9月27日
 22. 「コーディネーションプログラムにおける子どもの体力変化に関する研究」
発表者：安光達雄・野川春夫
第13回日本生涯スポーツ学会，大阪産業大学，2011年10月29日
 23. 「韓国プロ野球団の球団価値評価に関する研究」
発表者：李 性政・金 鍾・野川春夫
第13回日本生涯スポーツ学会，大阪産業大学，2011年10月29日
 24. 「マラソンイベントブームの終焉?!—ライフサイクル理論を中心に—」
発表者：野川春夫
第13回日本生涯スポーツ学会，大阪産業大学，2011年10月30日
 25. 「日本における人気ランニングイベントの実態—2008年全国ランニング大会100撰を対象に—」
発表者：相原実・佐々木朋子・野川春夫・上代圭子
第13回日本生涯スポーツ学会，大阪産業大学，2011年10月30日
 26. 「日本のサッカースタジアム整備の将来性に関する一考察」
発表者：新藤一晴・野川春夫
第13回日本生涯スポーツ学会，大阪産業大学，2011年10月30日
 27. 「東日本大震災における公共スポーツ施設管理者の対応—関東圏を中心とした現況の把握—」
発表者：松本眞一・鈴木知幸・相原実・野川春夫

- 第13回日本生涯スポーツ学会, 大阪産業大学, 2011年10月30日
28. 「公共スポーツ施設の利用満足に関する研究—指定管理者制度下における利用者満足の経年変化—」
発表者: 高橋季絵・渡辺泰弘・野川春夫
第13回日本生涯スポーツ学会, 大阪産業大学, 2011年10月30日
29. 「専門家志向からみたランナーの類型化に関する研究—専門家への半構造化インタビューを通じて—」
発表者: 岡安功・野川春夫
第13回日本生涯スポーツ学会, 大阪産業大学, 2011年10月30日
30. 「日本におけるランニングイベントの現状～平成21年度マラソンイベントのデータベース化～」
発表者: 橋田あかり・山本早希子・平林久周・高橋季絵・佐々木朋子・上代圭子・野川春夫
第13回日本生涯スポーツ学会, 大阪産業大学, 2011年10月30日
31. 「一般市民ランナーのマラソンイベントの参加動機～Web調査を中心に～」
発表者: 欠端真梨奈・杉山友里子・戸塚理央・舟木泰世・高橋季絵・佐々木朋子・野川春夫
第13回日本生涯スポーツ学会, 大阪産業大学, 2011年10月30日
32. 「地域が支えるスポーツ文化におけるスポーツ推進委員の役割」
座長 or コーディネーター: 野川春夫
第52回全国スポーツ推進委員研究協議会シンポジウム, 東京体育館, 2011年11月10日
33. “Examination of the causal effects between desire to stay and re-patronage with professional golf tour tournament in Japan.”
Yasuhiro Watanabe, Koji Matsumoto, Norio Nakashima, Haruo Nogawa
Sport Management Association of Australia and New Zealand’s 17th Annual Conference, November 25, 2011, Melbourne Cricket Ground, Melbourne, Australia

先任准教授
大友 泰司

【著書】『漱石・龍之介と世阿弥』翰林書房 2011年12月

【論文 〈原著〉】

新考『偷盗』を読む

—運命に翻弄された者達の行方と「救い」— 順天堂スポーツ健康科学研究

第3巻2号 2011年12月

金子 育世

【学会発表講演論文】

帰国子女と日本人一般大学生による英語のリズム生成パターンと TOEIC スコアにおける要因分析

須藤路子・金子育世

日本音響学会2011年秋季研究発表会講演論文集 417-418, 2011. 9

海外滞在開始年齢と滞在期間要因が日本人学習者の英語習得に与える影響—リズム生成パターンと TOEIC スコアの観点から—

金子育世・須藤路子

第25回日本音声学会全国大会予稿集 85-90, 2011. 9

神原 直幸

【論文】

①張 璐, 神原直幸, 浙江省の引退選手のセカンドキャリアプログラムの運営に関する研究, 順天堂スポーツ健康科学研究 (資料) (査読中)

工藤 康宏

【論文】

1) 工藤康宏・但木麻莉子 (2011. 3) 「Jリーグ所属クラブの行うホームタウン推進事業が地域住民におよぼす影響—地域やJリーグクラブへの帰属意識に注目して—」神奈川大学人間科学研究年報第5巻 pp. 39-54.

2) 工藤康宏・飯塚敦子 (2011. 3) 「障害者における運動および身体活動の促進要因について」神奈川大学人間科学研究年報第5巻 pp. 99-111.

【学会発表】

1) Nobuhiro Ishizawa, Hiroaki Ninomiya, Yasuhiro Kudo. (2011. 7) Behavioral Characteristics of Foreign Tourists at the Niseko Winter Sport Resort in Japan. World congress for the sociology of sport 2011.

2) 石澤伸弘・二宮浩彰・工藤康宏 (2011. 9) 「北海道ニ

セコリゾート訪日外国人スキーヤー&スノーボーダー調査研究Ⅰ：スポーツ・ツーリストの行動様式分析」日本体育学会第62回大会

3) 工藤康宏・二宮浩彰・石澤伸弘 (2011. 9)「北海道ニセコリゾート訪日外国人スキーヤー&スノーボーダー調査研究Ⅱ：スポーツ・ツーリストの専門志向化と旅行日数に着目して」日本体育学会第62回大会

4) 二宮浩彰・工藤康宏・石澤伸弘 (2011. 9)「北海道ニセコリゾート訪日外国人スキーヤー&スノーボーダー調査研究Ⅲ：スポーツ・ツーリスト行動のコンジョイント分析」日本体育学会第62回大会

【その他】

1) 工藤康宏 (2011. 7) 平成23年度神奈川県立体育センター総合型地域スポーツクラブ等人材育成事業講師 「スポーツイベントについて」～イベントの運営と評価～.

西村 英俊

【学術論文】

西村英俊 奥野 浩：
文部科学省私学助成金を利用した，LDAP-Samba 上の Windows 7 システム
順天堂スポーツ健康科学研究 3(2): 133-137, 2010

水野 基樹

【学会発表・Proceedings】

「指導者のリーダーシップスタイルと選手の競技意欲の関連—ジュニアユースサッカークラブを対象にして—」人類働態学会全国大会『人類働態学会会報』第94号，2011年6月，55-56頁.

研究者：菅又雄太郎，芳地泰幸，水野基樹

「チームビルディングの実践とその効果の検討—大学生スポーツチームを対象に—」人類働態学会全国大会『人類働態学会会報』第94号，2011年6月，57-60頁.

研究者：芳地泰幸，中山貴太，水野基樹，北村 薫

「大学生クラブ活動へのコミットメントと職業レディネスに関する研究」人類働態学会全国大会『人類働態学会会報』第94号，2011年6月，79-80頁.

研究者：水澤 隆，芳地泰幸，水野基樹

「企業スポーツチームの休・廃部が従業員の組織コミットメントに与える影響—T社を事例に—」人類働態学会全国大会『人類働態学会会報』第94号，2011年6月，91-92頁.

研究者：本田勇輝，芳地泰幸，水野基樹

「大学生スポーツチームにおける集団効力感と文脈的パフォーマンスの関連」産業・組織心理学会『第27回大会発表論文集』2011年9月，151-154頁.

研究者：芳地泰幸，水野基樹，中山貴太，北村 薫

「選手が抱く指導者に対する信頼の要因について」日本体育学会『日本体育学会第62回大会予稿集』2011年9月，101頁.

研究者：中山貴太，芳地泰幸，水野基樹

「チームビルディングの実践とチーム活性化に関する研究—大学生野球部を事例に—」日本体育学会『日本体育学会第62回大会予稿集』2011年9月，103頁.

研究者：芳地泰幸，水野基樹，中山貴太，北村 薫

「プロスポーツ選手に対する実践的キャリア・サポートのための統合的研究モデルの構築」日本体育学会『日本体育学会第62回大会予稿集』2011年9月，112頁.

研究者：水野基樹，山田泰行

「チームビルディングの実践が集団効力感およびチーム活性化に及ぼす効果に関する研究—大学生野球部を事例に—」日本スポーツ心理学会『第38回大会研究発表抄録集』2011年10月，48-49頁.

研究者：芳地泰幸，水野基樹，中山貴太，北村 薫

「アルバイトに従事する大学生の心理的葛藤とは？—ネガティブ・スピルオーバーに着目して—」日本産業衛生学会東海地方学会『平成23年度日本産業衛生学会東海地方学会講演集』，2011年11月，50-51頁.

研究者：山田泰行，水野基樹，広沢正孝，榎原 毅，上島通浩

「大学生のアルバイト従事がもたらす葛藤と恩恵—多重役割マップの特徴から—」人類働態学会東日本地方会『人類働態学会会報』第95号，2011年11月，15頁.

研究者：山田泰行，芳地泰幸，中山貴太，榎原 毅，広沢正孝，水野基樹

【その他】

「キャリアデザインとワークライフバランス」『労働の科学』
2011年7月, 第66巻, 7号, 18-22頁.

著者: 水野基樹

「キャリアデザインとワークライフバランス」『労働の科学』
2011年12月, 第66巻, 12号, 20-23頁.

著者: 水野基樹

山田 満

【学内調査】

「2010年度学生生活満足度調査報告」

順天堂スポーツ健康科学研究 2011年第2巻 Supplement,
p33-40

2011年3月

【講習会・講演】

公益財団法人「日本スポーツクラブ協会」主催

第7回全国スポーツクラブマネジャー資格認定講習会」にて講演

演題: 「スポーツクラブのマーケティングコミュニケーション」

2011年7月16日

【研究会】

一般社団法人「環境アスリート協会」との共同研究会にて
「順大生の環境意識調査」報告

2011年9月12日

【その他】

マーケティングコミュニケーションビジネス実践研究

実施企業: 龍角散

2011年7月13日

助手

高橋 季絵

【論文】

1. TAKAHASHI Toshie, WATANABE Yasuhiro, OTA
Ayako, NOGAWA Haruo.

“Determinants to Create Customer Satisfaction at Public
Sport Facilities in Japan”

Inaugural International Academy of Sportology, p. 126.,

2011

2. TOMEI Yumi, NOGAWA Haruo, TAKAHASHI
Toshie, JODAI Keiko, WATANABE Yasuhiro,
FUNAKI Yasuyo. “Japanese male adults’ gender
egalitarian attitude in the sports world”

Inaugural International Academy of Sportology, pp. 127-
131., 2011

【学会発表】

1. 「スポーツ施設における女性会員のクレームに関する
研究～民間フィットネスクラブに着目して」

発表者: 浅賀めぐみ・高橋季絵・渡辺泰弘・野川春
夫

第54回未来世代の研究発表会 (社団法人日本女子体
育連盟), 国立オリンピック記念青少年総合センター,
2011年2月11日

2. 「指定管理者制度導入施設の事業と住民評価～鹿島ウ
ェルネスプラザに着目して～」

発表者: 及川結花・高橋季絵・渡辺泰弘・野川春夫

第54回未来世代の研究発表会 (社団法人日本女子体
育連盟), 国立オリンピック記念青少年総合センター,
2011年2月11日

3. 「学校運動部活動における大部防止策に関する研究～
中学校の顧問教諭を対象として～」

発表者: 近藤雄一・高橋季絵・渡辺泰弘・野川春夫

第54回未来世代の研究発表会 (社団法人日本女子体
育連盟), 国立オリンピック記念青少年総合センター,
2011年2月11日

4. 「プロスポーツにおけるスポンサーに関する研究～バ
スケットボールを中心として～」

発表者: 櫻庭暢子・高橋季絵・渡辺泰弘・野川春夫

第54回未来世代の研究発表会 (社団法人日本女子体
育連盟), 国立オリンピック記念青少年総合センター,
2011年2月11日

5. 「知的障害者の運動・スポーツに関する研究」

発表者: 宮下かなえ・高橋季絵・渡辺泰弘・野川春
夫

第54回未来世代の研究発表会 (社団法人日本女子体
育連盟), 国立オリンピック記念青少年総合センター,
2011年2月11日

6. TAKAHASHI Toshie, WATANABE Yasuhiro, OTA
Ayako, NOGAWA Haruo.

“Determinants to Create Customer Satisfaction at Pub-
lic Sport Facilities in Japan”

Inaugural International Academy of Sportology, March 5, 2011, Juntendo University, Tokyo, Japan

7. TOMEI Yumi, NOGAWA Haruo, TAKAHASHI Toshie, JODAI Keiko, WATANABE Yasuhiro, FUNAKI Yasuyo. "Japanese male adults' gender egalitarian attitude in the sports world"
Inaugural International Academy of Sportology, March 5, 2011, Juntendo University, Tokyo, Japan
8. 「震災後の生活時間とスポーツ活動の変化について～サッカーおじさんを対象として～」
発表者：山本早希子・平林久周・欠端真梨奈・杉山友里子・戸塚理央・橋田あかり・舟木泰世・高橋季絵・野川春夫
イベント学会第14回研究大会，国際ファッションセンター，2011年9月8日
9. 「青少年スポーツ振興に関する国際比較研究」
発表者：渡辺泰弘・高橋季絵・舟木泰世・野川春夫
第62回日本体育学会，鹿屋体育大学，2011年9月25日
10. 「総合型地域スポーツクラブの設立効果に関する研究—クラブ会員のソーシャルキャピタルに着目して—」
発表者：舟木泰世・渡辺泰弘・高橋季絵・野川春夫
第62回日本体育学会，鹿屋体育大学，2011年9月27日
11. 「公共スポーツ施設の利用満足に関する研究—指定管理者制度下における利用者満足の経年変化—」
発表者：高橋季絵・渡辺泰弘・野川春夫
第13回日本生涯スポーツ学会，大阪産業大学，2011年10月30日
12. 「日本におけるランニングイベントの現状～平成21年度マラソンイベントのデータベース化～」
発表者：橋田あかり・山本早希子・平林久周・高橋季絵・佐々木朋子・上代圭子・野川春夫
第13回日本生涯スポーツ学会，大阪産業大学，2011年10月30日
13. 「一般市民ランナーのマラソンイベントの参加動機～Web調査を中心に～」
発表者：欠端真梨奈・杉山友里子・戸塚理央・舟木泰世・高橋季絵・佐々木朋子・野川春夫
第13回日本生涯スポーツ学会，大阪産業大学，2011年10月30日

〔健康学科〕

教授

島内 憲夫

【講演・座長】

- ① 第9回日本ヘルスプロモーション学会・学術大会（平成23年12月9日：宮崎市）特別講演「人々の健康を支える資源～ヘルスボランティアの意義～」
- ② 第9回日本ヘルスプロモーション学会・学術大会（平成23年12月9日：宮崎市）で，大会長鶴田来美（宮崎大学医学部看護学科教授）の講演「絆—人と人をつなぐもの—」の座長。
- ③ 第9回日本ヘルスプロモーション学会・学術大会（平成23年12月10日：宮崎市）で，シンポジウム「絆—希望のメカニズム—」の座長。

【論文】

鈴木美奈子・島内憲夫：ヘルスプロモーションとCSR，順天堂スポーツ健康科学研究 第3巻第2号，75-89，2011。
石津仁奈子・鈴木美奈子・島内憲夫：看護師の職業継続要因に関する基礎的研究～主観的幸福感との関係を中心として～，ヘルスプロモーション・リサーチ Vol. 4 No. 1，7-17，2011。
木野志保・鈴木美奈子・島内憲夫：児童の歯科保健に関する行動および意識の規定要因に関する研究～児童とその保護者の歯科保健に関する行動および意識の連関と地域比較～，ヘルスプロモーション・リサーチ Vol. 4 No. 1，18-25，2011。
ドン・ナットビーム著（助友裕子・島内憲夫訳）：公衆衛生目標としてのヘルスリテラシー戦略～21世紀の健康教育におけるコミュニケーション戦略～，ヘルスプロモーション・リサーチ Vol. 4 No. 1，26-37，2011。

【学会発表】

福谷淳子・島内憲夫：企業で働く人々のヘルス・リテラシー～その構造と段階～日本プロモーション学会・第9回学術大会・総会抄録集，46，2012年。

下村 義夫

【著書等】

森昭三代表（分担），文部科学省検定教科書・小学校体育科「みんなのほけん 3・4年生」，「みんなの保健 5・6年生」 学研教育みらい，2011. 2

下村義夫：けがの防止，教師用指導書・研究編「みんなの保健」，学研教育みらい，66-93，2011. 3

下村義夫：健康教育，「最新 教育基本用語」，小学館，352-361，2011. 4

【学会発表】

橋本孝子，下村義夫，学校保健委員会の実態に関する実証的研究，第8回日本教育保健学会講演集，60-61，2011. 3

【報告書】

文部科学省・国立教育政策研究所「評価基準の作成，評価方法等の工夫改善のための参考資料『小学校体育』」（調査研究協力者），教育出版，2011. 11

広沢 正孝

【著書】

- 1) Kawata, Y., Oki, K., Yamada, Y., Kaneko, I., Mizuno, M., Tanaka, S., Hirosawa, M.: The link between systemizing, one characteristic of the male brain, and persistence in acquiring skills in sports. *Ergonomics for all: Celebrating PPCOE's 20 years of excellence*. Lin & Chen (eds), pp363-367, Taylor & Francis Group, London. 2011.
- 2) Yamada, Y., Hochi, Y., Kawata, Y., Oki, K., Mizuno, M., Hirosawa, M.: Development of the multiple roles map program for the enhancement of self-understanding. *Ergonomics for all: Celebrating PPCOE's 20 years of excellence*. Lin & Chen (eds), pp369-373, Taylor & Francis Group, London. 2011.
- 3) Sugiura, M., Hirosawa, M., Aida, H., Okada, A., Mizuno, M., Yamada, Y., Kawata, Y., Ihara, H., Kobayashi, Y.: Relationship between depersonalization and experience of filling out incident report. *Ergonomics for all: Celebrating PPCOE's 20 years of excellence*. Lin & Chen (eds), pp533-537, Taylor & Francis Group, London. 2011.
- 4) 広沢正孝：強迫性障害. 山内俊雄，小島卓也，倉知正佳ほか編，専門医をめざす人の精神医学，第3版，pp475-481，医学書院，東京，2011.
- 5) 広沢正孝：精神医学. 日本精神保健福祉士養成校協会編，精神保健福祉士国家試験模擬問題集2012，問題編

pp6-9，解答編 pp1-6，中央法規，東京，2011.

- 6) 広沢正孝：残遺妄想，前駆期統合失調症，体感異常型統合失調症，不安 [現象学]，マイアー・グロス，夢幻症，夢幻状態，夢幻様体験型，妄想（性）痴呆. 加藤敏，神庭重信，中谷陽二ほか編，現代精神医学事典，p371, p626, p661, pp900-901, p974, pp997-999, p1015, 弘文堂，東京，2011.

【論文】

- 1) 川崎瑤子，川田裕次郎，広沢正孝：スポーツ系大学生における睡眠行動と主観的健康度に関する研究. 順天堂スポーツ健康科学研究，2: 65-69，2010. (前回提出後掲載)
- 2) 広沢正孝：精神科臨床における眼力と眼差し—永田俊彦先生の業績をめぐって. *精神科治療学*，26(4): 405-412，2011.
- 3) 広沢正孝：統合失調症患者の目覚めの体験と精神科リハビリテーション. *精神科治療学*，26(4): 431-436，2011.
- 4) 広沢正孝：発達障害・アスペルガー症候群を疑ったら. *JIM*，21(10): 823-825，2011.
- 5) 広沢正孝：成人の高機能広汎性発達障害の特性と診断—彼らの自己のあり方をもとに—. *神経誌*，113(11): 1117-1123，2011.

【その他】

- 1) 川田裕次郎，広沢正孝，田中純夫，渋谷智久，飯嶋正博：日本語版“Reading the Mind in the Eye” Test の妥当性と信頼性の検証. 順天堂スポーツ健康科学研究，2 (Supplement): 3，2011.
- 2) 広沢正孝，杉浦 幸，田中純夫，山田泰行，西 泰信，川田裕次郎，上野朋子：離人症に関する精神保健学的研究. 順天堂スポーツ健康科学研究，2 (Supplement): 9，2011.
- 3) 中村恭子，広沢正孝，岩崎 香：精神科リハビリテーションにおけるスポーツ・アクティビティの有効性についてⅢ. 順天堂スポーツ健康科学研究，2 (Supplement): 9，2011.

ment): 11, 2011.

- 4) 形本静夫, 手嶋敏光, 大原寛一, 岸本直樹, 中務博司, 村出真一郎, 河合祥雄, 広沢正孝: 自転車競技部—2010年度のトレーニング指導方針と成果. 順天堂スポーツ健康科学研究, 2 (Supplement): 55-57, 2011.
- 5) 広沢正孝: (インタビュー) 常に「発達」の視点をもって患者さんを診ることが広汎性発達障害の正しい診断につながる. 週間医学界新聞, 2918号, 医学書院, 2011 (2月28日).
- 6) 広沢正孝, 川田裕次郎, 沖 和砂, 那須野歩, 高橋麻衣子, 土屋大志郎, 林田章紀, 仁藤恵里子, 蛭田秀樹: サイクリングの実施が心理的健康に及ぼす影響に関する調査研究. 平成22年度, 自転車による健康増進のための自然科学的研究, pp13-27, 2011. (自転車普及協会の委託)
- 7) 広沢正孝: 青年~大人のこころの問題: 軽症うつ病, 適応障害など—精神科医の立場から—. 医療看護研究, 8(1); 29-41, 2011.
- 8) 村上靖彦, 松本雅彦, 広沢正孝, 村上伸治, 青山慎介, 増元康紀, 大辻毅彦, 吉岡眞吾, 杉林 稔: 座談会; 精神疾患の長期経過. 治療の声, 12(1); 5-21, 2011.

【学会発表・講演等】

- 1) 山田 快, 中島宣行, 広沢正孝: 競技前後におけるバレーボール選手の状態不安とチームパフォーマンスの関連性. 日本体育学会第62回大会予稿集. p104, (2011/9/26)
- 2) 川田裕次郎, 那須野歩, 沖 和砂, 田中純夫, 中島宣行, 広沢正孝: 体育系学生における自閉症スペクトラム指数と日常・競技ストレスとの関連. 日本体育学会第62回大会予稿集. p107, (2011/9/26)
- 3) 高橋麻衣子, 川田裕次郎, 林田章紀, 土屋大志郎, 蛭田秀樹, 仁藤恵里子, 沖 和砂, 中島宣行, 形本静夫, 広沢正孝: サイクリングの実施が主観的健康度に及ぼす影響. 日本体育学会第62回大会予稿集. p114, (2011/9/27)
- 4) 土屋大志郎, 川田裕次郎, 高橋麻衣子, 林田章紀, 蛭田秀樹, 仁藤恵里子, 那須野歩, 中島宣行, 形本静夫, 広沢正孝: サイクリングの実施が主観的健康度及び抑うつに及ぼす影響. 日本体育学会第62回大会予稿集. p115, (2011/9/27)
- 5) 林田章紀, 川田裕次郎, 高橋麻衣子, 土屋大志郎, 蛭田秀樹, 仁藤恵里子, 上野朋子, 中島宣行, 形本静夫, 広沢正孝: サイクリングへの関わり方と主観的健康度及び抑うつとの関連. 日本体育学会第62回大会予稿集. p115, (2011/9/27)
- 6) 上村 明, 川田裕次郎, 那須野歩, 加藤恭章, 高尾菜月, 広沢正孝: スポーツ系大学生におけるバーンアウトの現状. 第38回日本スポーツ心理学会. (2011/10/9)
- 7) 高尾菜月, 川田裕次郎, 那須野歩, 加藤恭章, 上村明, 広沢正孝: スポーツ系大学生における摂食障害の実態について. 第38回日本スポーツ心理学会. (2011/10/9)
- 8) 中安信夫, 広沢正孝: 発達・成熟との関連で見る psychosis. 第34回日本精神病理・精神療法学会シンポジウム1. (座長) (2011/10/13)
- 9) 広沢正孝: キャンパスで求められる発達障害支援とは—高機能広汎性発達障害をめぐって—. 東京メンタルヘルス研究会 (日本学生支援機構・文部科学省). (2011/10/17)
- 10) 広沢正孝: 成人の高機能広汎性発達障害の特性と診断—彼らの自己のあり方をもとに—. 第107回日本精神神経学会 (シンポジウム). (2011/10/26)
- 11) 小野 隆, 涌井佐和子, 広沢正孝: 介護予防事業におけるニーズと自己効力感に関する研究, 日本生涯スポーツ学会第13回大会, 大阪産業大学. (2011/10/29, 30)
- 12) 広沢正孝: 若い看護師のこころの特徴と師長の対応の仕方. 順天堂大学6病院師長研修会 (教育講演). (2011/11/6)
- 13) 山田泰行, 水野基樹, 芳地泰幸, 中山貴太, 榎原

毅, 広沢正孝: 大学生のアルバイト従事をもたらす葛藤と恩恵—多重役割マップの特徴から—。第40回人類動態学会東日本大会。(2011/11/13)

14) 広沢正孝: 高齢者の生き甲斐と日本人の故郷性。第8回順天堂大学スポーツ健康科学部国際シンポジウム(特別講演)。(2011/11/19) (Hirosawa, M.: Considering meaning and purpose of Japanese geriatrics: A sense of coherence and/or a spiritual longing for home. Special lecture at the 8th international symposium of Juntendo University School of Health and Sports Science.)

15) 中村恭子, 広沢正孝, 細見 修, 山倉文幸, 鈴木利人, 輪島留美子, 木内瑞絵, 田中那奈: 精神科リハビリテーションにおけるスポーツ活動の有効性の検討。第54回病院・地域精神医学会。(2011/11/24)

細見 修

【総説】

細見 修, 池田啓一, 奈良岡佑南 (順天堂大学・スポ健) 糖鎖が秘める生体内機能—I. オリゴ糖とは何か? 順天堂スポーツ健康科学研究, 2011, 2(4) 129-138.

【原著論文】

K. Ikeda, O. Hosomi, H. Kawasaki, J. Kobayashi, F. Yamakura, S. Kudo (Juntendo Univ., Gunma Univ.,) Novel serine proteinase inhibitor with inhibitory activity for metalloproteinase. 順天堂スポーツ健康科学研究, 2011, 3(1) 19-25.

【学会発表】

第84回 日本生化学会 (2011年)

1. 奈良岡佑南, 三澤義知, 又平芳春, 池田啓一, 細見 修 (順天堂大学, 焼津水産化学工業) 新規オリゴ糖のがん細胞増殖抑制作用. 3P-0055

2. 池田啓一, 細見 修, 川崎広明, 小林 淳, 山倉文幸, 工藤重治 (順天堂大学, 群馬大学) Novel serine proteinase inhibitor in viterine envelope of Japanese dace, *Tribolodon hakonensis*. 3P-0404

【報告】

2011年 スポーツ健康医科学研究所・スポーツロジーセン

ター合同研究報告会

K562 細胞膜表面にあるガレクチン-1 がオリゴ糖 (Gal α 1-6GlcNH $_2$) を取り込む可能性について.

細見 修, 奈良岡佑南, 三澤義知, 又平芳春, 池田啓一 (順天堂大学, 焼津水産化学工業)

山岸 明子

【著書】

1. 山岸明子 こころの旅—発達心理学入門 (単著) 新曜社

【論文】

1. 山岸明子 大学生のレジリエンスと両親への態度・認知との関連—性差に着目して— 順天堂スポーツ健康科学研究, 2-3, 87-94.
2. 山岸明子 「成人期女性の現在の母親認知と青年期の母親認知の関連, 及びその規定要因」への小高氏・瀧日氏のコメントに対するリプライ 青年心理学研究 23-1, 104-108.
3. 山岸明子 大学生のレジリエンスと両親への態度—スポーツ系学生と文学部学生の比較— 順天堂スポーツ健康科学研究, 3-2, 105-111.

【学会発表】

1. 山岸明子 青年期から成人期の対人的枠組みと対人的認知—19年後の縦断的变化— 日本発達心理学会第22回大会論文集, 538.
2. 山岸明子 規範意識の稀薄化について 松尾直博他大会委員会企画シンポジウム 成人期日本人の道徳意識: 20代から50代を対象とした大規模調査を題材に 日本発達心理学会第22回大会論文集, 129.
3. 山岸明子 成人期女性の対人的枠組みの変化と関連する要因—19年後の縦断的变化— 日本教育心理学会第53回総会論文集, 217.
4. 山岸明子 大学生のレジリエンスと両親への態度—スポーツ系学生と文科系学生の比較— 日本心理学会第75回大会論文集, 1274.

【その他】

1. 山岸明子 文学や映画を青年心理学の講義で取り上げる 日本青年心理学会 News Letter 6-7.
2. 山岸明子 老年期の生きがい 第8回順天堂大学スポーツ健康科学部国際シンポジウム 24-25.

3. 山岸明子 研究発表「母子関係」での座長 日本青年心理学会第19回大会
4. 山岸明子・寺岡三左子 RESILIENCE 及び自尊心と看護実習についての語りとの関連 第7回医療看護研究会でのポスター発表

先任准教授 飯嶋 正博

【学会発表・講演等】

- 1) 千葉県心理リハビリテーション連絡会 ニュースレター No. 4 1-8p 千葉県心理リハビリテーション連絡会 1月30日 2011
- 2) 「緊張をはぐす一動作法からのアプローチ」不安や緊張が高い子どもへの理解と支援—アスペルガー症候群や場面緘黙症との関連も含めて— 発達協会の春セミナー B テキスト B-17-23p 2月11日 2011
- 3) 「身体の動きの指導—児童生徒の姿勢の取り方, 動作の見方等の指導スキルについて—」実技指導 自立活動部基礎研修 千葉県立印旛特別支援学校 6月13日 2011
- 4) 「ダウン症児のための動作法」講習会 資料1-2p 蘇我リラックス館 千葉たんぼぼの会 7月4日 2011
- 5) 「見立てから課題設定, 訓練手順まで」夏季心理リハビリテーション第10回トレーナー研修会 資料1-4p 千葉県心理リハビリテーション連絡会 南習志野消防署 7月9日 2011
- 6) 「ダウン症児へのプール指導」実技指導 たけのこの会 埼玉県障害者交流センター 7月19日 2011
- 7) 「自立活動実技研修」実技指導と実技研修 千葉県立銚子特別支援学校 7月25日 2011
- 8) 「本校児童の実態に合わせたリズム運動の動きづくり」研修会 資料1-2p 東京都立多摩桜の丘学園 7月28日 2011
- 9) 「心理リハビリテーション研修会」講演・実技指導・実技研修 千葉県ひまわり会 富里中央公民館 資料1-4p 7月29日~31日 2011
- 10) 「重度障害児の身体づくり」実技指導, 「知的障害児の運動・動作, 体育指導について」実技研修 資料1-4p 千葉県立八日市場特別支援学校 8月1日 2011
- 11) 「ダウン症児へのプール指導」実技指導 かりんの会 千葉県立つくし特別支援学校 8月2日 2011
- 12) 「障害児へのプール指導」実技指導 ひなの会 八千代市ふれあいプラザ 8月3日 2011
- 13) 「不器用さのある児童への運動指導」講演・実技研修 東京都立房総養護学園学校研究協議会 大田区立館山さざなみ学校 資料1-4p 8月4日 2011
- 14) 「心理リハビリテーション研修会」講演・実技指導・実技研修 資料1-12p 市川なのはな会 BumB 東京スポーツ文化館 8月5日~6日 2011
- 15) 「ダウン症児へのプール指導」実技指導 千葉市ハーモニープラザ 千葉たんぼぼの会 8月14日 2011
- 16) 「心理リハビリテーション研修会」講演・実技指導・実技研修 資料1-4p 千葉さくらんぼの会 千葉県立桜が丘特別支援学校 8月18日~20日 2011
- 17) 「運動や遊びを通じた動きづくりの方法」全校研修会 資料1-6p 東京都立あきる野学園 8月23日 2011
- 18) 「障害のある児童生徒の動きづくり」市川市特別支援教育研究連盟夏季研修会 実技研修 資料1-3p 市川市立塩焼小学校 8月25日 2011
- 19) 「不器用な子どもの動きづくり」神奈川県茅ヶ崎・寒川地区小学校特別支援学級担当者研究会 講演 資料1-8p 茅ヶ崎市立松林小学校 8月29日 2011
- 20) 「日常生活に必要な動きづくり」自立活動研修会 資料1-8p8 埼玉県立大宮北特別支援学校 8月30日 2011
- 21) 「遊びを通して親子の関わりの育み方」保護者向け講演会 資料1-8p 「不器用な子どもへの関わり方について」職場内(職員)研修会 資料1-8p 大田区立こども発達センターわかばの家 9月13日 2011
- 22) 「身体づくりとリラクゼーション—動作法の視点にもとづくアプローチ—」発達障害のある子の「感覚」への支援—本人への働きかけと環境設定— 発達協会秋のセミナー6 テキスト ⑥-18-25p 10月22日 2011
- 23) 「発達障害のある子への運動あそびの工夫~実践を通して~」平成23年度自閉症対策事業 実技研修 資料1-6p 福井県こども療育センター 10月30日 2011
- 24) 連名: 大山直樹 「月例会・訓練会における研修について—千葉県内月例会・ダウン症訓練会—」日本リハビリテーション心理学会 発表論文集 54-55p 12月9日 2011
- 25) 助言者 分科会「G: キャンプ・月例会における取り組み」第37回心理リハビリテーションの会全国大会(大阪大会) 12月11日 2011
- 26) 「動作法とは」講義, 資料1-2p, 「個別指導」実技指導 習志野ことばを育てる親の会 習志野市立東習志野小学校 12月19日 2011

- 27) 連名：小塚昭仁 他5名「大学サッカー選手への三角形イメージ体験法の応用に関する基礎的研究—三角形イメージの出現形態の変化に着目して—」防衛大学校紀要（社会科学分野）第102輯 9-19p 3月 2011

牛尾 直行

【著書】

教育制度研究会編、『要説教育制度』（新訂第三版），学術図書出版，2011年3月，XIV. 「(8)少子化問題と教育制度改革」担当執筆

【学会発表】

鴨志田祐子，牛尾直行，広沢正孝，黒崎宏一，上野美保，「保育士養成課程における，栄養バランスを理解するための有用な教材開発」，日本学校保健学会第58回大会研究発表，名古屋大学，2011年11月13日

【研究会報告】

- 牛尾直行，Comment on two Reports, International Workshop of South Asian Education: Right to Education in South Asia; Its Implementation and New Approaches, 京都大学，2011年2月
- 牛尾直行，インドにおける無償義務教育法制の施行と教育機会，HINDAS2011年度第1回研究集会第3報告，広島大学，2011年5月

田中 純夫

【著書連載等】

1. 田中純夫：保護者との信頼関係をつくるカウンセリング，子どもに無関心な保護者と，『チャートでわかるカウンセリングテクニックで高める「教師力」』諸富祥彦編集，ぎょうせい，92-93，2011
2. 田中純夫：教育相談講座「学校だからこそできる児童生徒理解とカウンセリング第8回ストレスマネジメント教育の必要性と進め方」『千葉教育』1月号，33-34，千葉県総合教育センター，2012
3. 田中純夫：教育相談講座「学校だからこそできる児童生徒理解とカウンセリング第9回児童生徒の適応支援を目指したスクールサポートシステムの構築」『千葉教育』1月号，33-34，千葉県総合教育センター，2012

4. 田中純夫：「歯科医療と精神医療・心身医療 Vol. 3：発達障害の見立て方」，『道歯会通信』11月号，3-4，社団法人北海道歯科医師会，2011

5. 田中純夫：「歯科医療と精神医療・心身医療 Vol. 4：パーソナリティ障害にどう向き合えばよいのか？」，『道歯会通信』12月号，3-4，社団法人北海道歯科医師会，2011

【学会発表】

1. 蛭田秀樹，西田敬志，林田章紀，青葉亜紀，宮田郷，水野基樹，田中純夫，北村 薫：教育相談職員の組織開発を目指した研修の実践事例，人類働態学会会報，第94号，25-27，2011
2. 西田敬志，田中純夫：体育系大学における無気力に関わる諸要因について，人類働態学会会報，第94号，77-78，2011
3. 川田裕次郎，広沢正孝，蛭田秀樹，田中純夫，水野基樹：大学生におけるマインド・リーディングと対人ストレスイベントとの関連，人類働態学会会報，第94号，82-83，2011
4. 川田裕次郎，那須野歩，沖 和砂，田中純夫，中島宣行，広沢正孝：体育系大学生における自閉症スペクトラム指数と日常・競技ストレスとの関連，日本体育学会，第62回大会抄録集，107，2011

【その他】

1. 田中純夫：心理学理論と心理的支援，『精神保健福祉士国家試験問題集2012』，46-48中央法規，2011
2. 田中純夫：学問別分野ガイダンス・健康科学，蛭雪時代4月別冊増刊号．978-979，旺文社，2011

山本 澄子

【学会発表】

- 看護職に対する禁煙教育の進め方に関する研究—一意思決定の5ステップと禁煙行動— 第30回千葉県看護研究学会，2/3，2012

四方田 清**【著書】**

「精神保健福祉白書2012年版」. 共著, 精神保健福祉白書編集委員会編, pp48, 中央法規出版, 2011

【教育活動】

「精神保健福祉士国家試験過去問解説2012」. 社団法人日本社会福祉士養成校協会・一般社団法人日本精神保健福祉士養成校協会編集, 編者, 中央法規出版, 2011

「精神保健福祉士全国統一模擬試験」. 一般社団法人日本精神保健福祉士養成校協会編集, 問題作成及び編者, 中央法規出版, 2011

「精神保健福祉士国家試験模擬問題集2012」. 一般社団法人日本精神保健福祉士養成校協会編集, 編者, 中央法規出版, 2011

【講演および講義】

「精神障害者の理解と家族支援」, かたくりの会月例研修会, 主催: 八千代精神障害者家族会かたくりの会 (2011.2.15)

「今後の精神障害者支援のあり方」. 生活支援員研修会, 主催: 君津市社会福祉協議会・きみつ後見支援センター (2011.2.21)

「これからの精神保健福祉活動と家族会」. 家族会総会, 佐倉市中央公民館, 主催: 地域家族会かぶらぎ会 (2011.4.24)

「精神保健福祉と地域支援」. こころの市民講座, 印西市文化ホール, 主催: 印西市社会福祉課 (2011.6.7)

「日本精神保健福祉士協会の役割」. 基幹研修 in 千葉, 総武病院, 主催: 日本精神保健福祉士協会千葉県支部 (2011.11.20)

「精神障害者の理解と支援」. 千葉県社会福祉協議会主催生活支援員等研修会, 千葉県社会福祉センター (2011.11.29)

「精神保健福祉士国家試験直前対策講座: 精神保健学」. 田園調布学園大学, 一般社団法人日本精神保健福祉士養成校協会 (2011.12.11)

涌井佐和子**【原著論文】**

黒田 豊, 西尾進也, 森山太郎, 原口 晃, 涌井佐和子. 運動習慣非保有者の最大酸素摂取量. 体力科学, 60(1) 147-154. 2011. 6.

東恩納玲代, 涌井佐和子, 永山 寛, 濱岡隆文, 斎藤和人, 吉田剛一郎, 前田 明, 関子浩二, 井上尚武, 和田智仁, 隅野美砂輝, 吉武 裕. 農村の地域に在住する外出頻度の低い高齢者の身体的特性, 生活習慣, および社会的特性—男女別による検討—. 生涯スポーツ学研究, 8(1), 13-22. 2011. 6.

【その他】

福永哲夫, 石田良恵, 川西正志, 沢井志穂, 松本弘志, 神崎 史, 北村尚浩, 高井洋平, 涌井佐和子. 総合型スポーツクラブでの貯筋プログラム指導者養成と効果に関する報告書(H22年度スポーツ振興くじ助成事業)財団法人健康・体力づくり事業財団, 2011. 3.

福永哲夫, 川西正志, 北村尚浩, 坂口俊哉, 涌井佐和子, 武岡佑磨, 若原 卓, 三浦 健, 方住 月, 神崎 史, 石田良恵. 動ける日本人育成をめざしたみんなの貯筋プロジェクト (pp. 13-25). 動ける日本人育成をめざした「NIFS みんなの貯筋研究プロジェクト研究報告」, 鹿屋体育大学, 2011. 3

川西正志, 北村尚浩, 坂口俊哉, 山崎利夫, 竹下俊一, 涌井佐和子, 和田智仁, 隅野美砂輝, 石田良恵, 大家 栄, 成田 好. スポーツ産学連携プログラム開発のための基礎調査報告, 鹿屋体育大学. 2011. 3.

【学会発表等】

西尾進也, 黒田 豊, 森山太郎, 原口 晃, 涌井佐和子. 運動習慣非保有者における最大酸素摂取量と生活習慣病. 第66回日本体力医学会, 山口県下関市, 2011. 9.

原口 晃, 黒田 豊, 森山太郎, 西尾進也, 松本真之, 涌井佐和子. 医療法42条施設における生活習慣改善プログラムの効果. 第66回日本体力医学会, 山口県下関市, 2011. 9.

黒田 豊, 西尾進也, 森山太郎, 原口 晃, 松本真之, 涌井佐和子. 生活習慣病罹患者と非罹患者の身体活動量の検討. 第66回日本体力医学会, 山口県下関市, 2011. 9.

松本真之, 森山太郎, 黒田 豊, 原口 晃, 西尾進也, 涌井佐和子. 医療法42条施設における運動導入前後の最大酸素摂取量の変化. 第66回日本体力医学会, 山口県下関市, 2011. 9.

涌井佐和子, 志手典之, 佐川正人, 越山賢一, 石澤伸弘. 健康増進プログラムにおけるセルフモニタリングの有効性に関する研究. 日本体育学会第62回大会, 鹿屋体育大学, 2011. 9.

坂口俊哉, 川西正志, 北村尚浩, 涌井佐和子. スポーツ産業界が求める人材像と社会人基礎力—製造業人事担当者を対象としたアンケート調査から—. 日本体育学会第62回大会, 鹿屋体育大学, 2011. 9.

川西正志, 坂口俊哉, 北村尚浩, 涌井佐和子. スポーツ産学連携セミナーの体育・スポーツ専門学生への社会的インパクト. 日本体育学会第62回大会, 鹿屋体育大学, 2011. 9.

東恩納玲代, 涌井佐和子, 吉田剛一郎, 前田 明, 和田智仁, 隅野美砂輝, 吉武 裕, 宮地元彦. 女性高齢者における体力の縦断的变化—鹿児島県S郡O町での介護予防事業における事例—. 日本体育学会第62回大会, 鹿屋体育大学, 2011. 9.

小野 隆, 涌井佐和子, 広沢正孝. 介護予防事業におけるニーズと自己効力感に関する研究. 生涯スポーツ学会第13回大会, 大阪産業大学, 2011. 10.

朝倉隆司, 涌井佐和子, 青柳直子, 竹鼻ゆかり. 小・中学生における生理学的ストレス指標と学校関連ストレス—抑うつとの関連—. 日本学校保健学会第58回大会, 名古屋大学, 2011. 11.

准教授

松山 毅

【著書】

日本精神保健福祉士養成校協会編『精神保健福祉士国家試験 模擬問題集2012』(中央法規出版) 地域福祉論担当

【学会発表】

第17回日本福祉教育・ボランティア学習学会 (2011.12.5 同志社大学)

松山 毅・櫻井麻紀子「千葉県における福祉教育パッケージ指定方式の意義および課題」

【その他】

「酒々井町ふくしまップ」作製 (2011.3)

社会福祉学ゼミナールと酒々井町・酒々井町社協で合同でバリアフリーマップを作成.

2011.2.5 第26回印西市社会福祉大会講演

松山 毅「地域の福祉力を高めるために～地域福祉と住民活動～」

2011.12.9 千葉県社協福祉教育指定校研修会講演 (八千代東高校)

松山 毅「福祉教育とまちづくり～パッケージ指定方式による福祉教育」

講師

渡邊 貴裕

【原著】(査読有り)

渡邊貴裕 橋本創一 菅野 敦 宮崎義成 尾高邦生. 特別支援学校における体育指導に関する調査研究. 発達障害支援システム学研究 第10巻2号 pp. 79～108, 2011. 12

【著書】

1. 橋本創一・細川かおり・栗原治子・渡邊貴裕・原田恵子・尾高邦生. 小1プロブレム 予防&改善プログラム 特別支援教育と学級運営・学習活動に使える目的別メニュー55. ラビュータ pp. 96～115 pp. 176～197, 2011. 4
2. 橋本創一・横田圭司・小島道生・田口禎子・渡邊貴裕 人間関係でちょっと困った人 & 発達障害のある人のためのサポートレシピ. 福村出版 pp. 136～141, 2012. 1

【学会発表】

1. 渡邊貴裕 橋本創一 菅野 敦 宮崎義成 尾高邦生. 特別支援学校の体育及び体育的活動に関する調査研究. 日本発達障害学会第47回大会論文集 pp. 134～135, 2011. 8
2. 尾高邦生 渡邊貴裕 橋本創一 菅野敦. 知的障害者の就労に関する作業能力についての一考察. 日本発達障害学会第47回大会論文集 pp. 94～95, 2011. 8
3. 渡邊貴裕 橋本創一 菅野 敦 宮崎義成 尾高邦生. 特別支援学校の体力・運動能力検査に関する調査

- 研究. 日本特殊教育学会第49回大会論文集 pp. 552, 2011. 9
4. 増澤貴宏 齋藤大地 小泉浩一 渡邊貴裕 大伴 潔 奥住秀之. 特別支援学校小学部における子どもたちのコミュニケーションの充実を目指した授業実践研究—小学部における3年間の経過報告—. 日本特殊教育学会第49回大会論文集 pp. 697, 2011. 9
 5. 尾高邦生 渡邊貴裕 橋本創一 菅野 敦. 特別支援学校における現場実習での個人目標に関する研究. 日本特殊教育学会第49回大会論文集 pp. 734, 2011. 9
 6. 橋本創一 菅野 敦 恵羅修吉 工藤傑史 渡邊貴裕. 軽度知的障害児があらゆる教育の場で増えている～教育支援や教育課程を考える～. 日本特殊教育学会第49回大会論文集 pp. 81, 2011. 9
 7. 橋本創一 佐藤晋治 上村恵津子 熊丸高雄 渡邊貴裕. 地域の実情にあった発達障害者支援・学校支援の事例・実践研究～教育フィールドにおける支援方法・アセスメント法・連携研究のあり方～. 日本LD学会第20回大会論文集 pp. 49, 2011. 9

助手

池田 啓一

【論文等】

Novel serine proteinase inhibitor with inhibitory activity for metalloproteinase, Keiichi IKEDA, Osamu HOSOMI, Hiroaki KAWASAKI, Jun KOBAYASHI, Fumiyuki YAMAKURA, Shigeharu KUDO, J Health Sports Sci Jun-tendo, 3(1), 19-25, 2011

糖類が秘める生体内機能 I. オリゴ糖とは何か? 細見修, 池田啓一, 奈良岡佑南 順天堂スポーツ健康科学研究, 2(4), 129-138, 2011 (総説)

しいたけ子実体のスーパーオキシドジスムターゼの精製と諸性質, 不破眞佐子, 池田啓一, 川崎広明, 山倉文幸, 高ひかり, 峯木礼子, 村山季美枝, 松本 孝, 学苑—生活科学紀要—, 854, 1-9, 2011

Development of Dynamic Cell Adhesion under Rotary Shaking, Jun KOBAYASHI, Hiroshi TERADA, Keiichi IKEDA, Hideo SUGIYAMA, Bull Nippon Vet Life Sci Univ, in press

一般ゴミ由来溶融スラグの重金属封じ込め効果, 小林淳, 池田啓一, 寺田 宙, 望月眞理子, 杉山英男, 分析化学, in press

【学会発表】

Nitration of tryptophan residues is a novel post translational modification occurring in naive and differentiated PC12 cells. H. Kawasaki, A. Shigenaga, K. Ikeda, T. Baba, H. Ogawa, K. Takamori, F. Yamakura, The International Symposium on Free Radical Research: Contribution to Medicine (FRCM2011), 平成23年1月

Changes of blood biomarkers for arteriosclerosis in young throwers, Keiichi IKEDA, Shingo Takako, Yuko Amamiya, Shingo Nakamaru, Kesatoki Kaneko, Sachio Kawai, Shigeru Nakajima, Shizuo Katamoto, Fumiyuki Yamakura, Naoki Shida, Hideaki Iwai, Inaugural International Academy of Sportology (poster No. P-3-9), 平成23年3月

Enzymatic synthesis of a novel oligosaccharide by the reverse reaction of α -galactosidase and its physiological role (s), O. Hosomi, Y. Misawa, Y. Matahira, Y. Naraoka, Keiichi IKEDA, F. Yamakura, Inaugural International Academy of Sportology (poster No. P-2-10), 平成23年3月

新規オリゴ糖のがん細胞増殖抑制作用, 奈良岡佑南, 三澤義知, 又平芳春, 池田啓一, 細見 修, 第84回日本生化学会大会, 2011. 9. 21~24 (ポスター番号 3P-0055)

培養細胞の分化誘導前後でのリボソームタンパク質新規翻訳後修飾・トリプトファン残基ニトロ化, 川崎広明, 重永綾子, 馬場 猛, 宇田宗弘, 池田啓一, 安田従生, 高森建二, 山倉文幸, 第84回日本生化学会大会, 2011. 9. 21~24 (ポスター番号 2P-0257)

Novel serine proteinase inhibitor in vitelline envelope of Japanese dace, 池田啓一, 細見 修, 川崎広明, 小林淳, 山倉文幸, 工藤重治, 第84回日本生化学会大会, 2011. 9. 21~24 (ポスター番号 3P-404)

共同利用飲用設備の清浄性調査, 小林 淳, 寺田 宙, 池田啓一, 望月眞理子, 杉山英男, フォーラム2011衛生薬学環境トキシコロジー, 2011年10月, (ポスター番号 P021)

逆相 HPLC を用いた DNA の GC 含量測定法, 小林 淳, 寺田 宙, 池田啓一, 望月真理子, 杉山英男, 日本分析化学会第60年会, 2011年9月 (ポスター番号 P2026)

大学生アスリートのトレーニングと血中アミノ酸の関連について, 池田啓一, 伊藤 匠, 佐賀典生, 小林 淳, 廣瀬 伸良, 菅波盛雄, 細見 修, 山倉文幸, 第33回日本トリプトファン研究会学術大会, 2011年12月